

# 2020年6月期 決算説明資料

株式会社エンビプロ・ホールディングス  
2020年8月21日



# 目次

1. 2020年6月期 決算概要
2. 新型コロナウイルス感染拡大の影響と対策
3. 2021年6月期 見通し
4. 中長期の取り組み
5. 配当方針
6. 会社概要
7. 参考資料

# 1. 2020年6月期 決算概要

# 事業セグメント

事業セグメント		概要	事業会社
資源循環	リユース (再利用)	中古製品・部品を機能や価値をそのままに流通を行う	(株)エコネコル (株)クロダリサイクル (株)しんえこ
	リサイクル (再資源化)	金属スクラップ・廃棄物等を破砕し、モノの物質特性の違いを利用して素材ごとに物理選別し再資源化を行う	(株)東洋ゴムチップ (株)VOLTA
	リマニュファクチャリング (再生産)	リサイクル技術を一步進め、廃棄物やスクラップ等から再生原料・再生品の製造を行う	持株法適用関連会社 (株)アビツ (株)富士エコサイクル
グローバル資源循環		金属、プラスチックスクラップ、バイオマス燃料等多様な資源の輸出入・3国間貿易を通して国際的な資源循環を行う	(株)NEWSCON (エコネコル貿易部門) ※2020年7月1日にエコネコルから貿易部門をNEWSCONへ承継
中古自動車関連		高品質な日本製の中古自動車・重機や、エンジンをはじめとした中古自動車部品を仕入れ、海外への輸出や3国間貿易を行う	(株)3WM
その他		企業の環境戦略立案やCO2削減計画の支援など、環境経営に専門特化したコンサルティングサービスを行う 障がい者就労支援などを行う	(株)ブライトイノベーション (株)アストコ

# 2020年6月期 ハイライト



## 業績

売上高	33,879百万円	(前年同期比 6.8%減)
営業利益	790百万円	(前年同期比 5.9%減)
経常利益	934百万円	(前年同期比 18.1%減)
当期純利益	602百万円	(前年同期比 23.5%減)

## 主要TOPICS

- 鉄スクラップ価格（東京製鐵田原海上特級価格）の、平均価格が22,943円（前年は33,219円）であったが、取扱量を増やすことで売上を確保
- 第4四半期会計期間 経常損失0.9億円
- 新規事業関連分 経常損失2.3億円（VOLTA、プラ2プラ等）
- プラスチックのマテリアル事業の組織再編に伴う特別損失0.3億円
- 設備投資12億円（支払ベース）
- 減価償却方法の変更：定率法⇒定額法 1.9億円の費用減少
- LIBリサイクルにおいてBSの販売がスタート

※当期純利益＝親会社株主に帰属する当期純利益

※LIB：リチウムイオン二次電池

※BS：ブラックサンド（コバルト、ニッケル濃縮滓）

（金額、数量は切り捨て表示：％は四捨五入表示）

# 2020年6月期 連結損益計算書概要



(単位：百万円)

	2019年 6月期	2020年 6月期	前年同期比		2020年 6月期	6/12開示比	
	実績	実績	増減額	増減率	6/12開示	増減額	増減率
売上高	36,336	<b>33,879</b>	▲ 2,457	▲6.8%	34,041	▲ 162	▲0.5%
売上総利益	6,454	<b>6,861</b>	407	6.3%	—	—	—
営業利益	839	<b>790</b>	▲ 49	▲5.9%	807	▲ 16	▲2.1%
経常利益	1,141	<b>934</b>	▲ 206	▲18.1%	912	22	2.5%
税金等調整前 当期純利益	1,138	<b>918</b>	▲ 219	▲19.3%	—	—	—
当期純利益※	787	<b>602</b>	▲ 185	▲23.5%	621	▲ 19	▲3.1%
限界利益※	6,681	<b>6,632</b>	▲ 48	▲0.7%	—	—	—
E B I T D A※	1,482	<b>1,389</b>	▲ 93	▲6.3%	—	—	—
純粹固定費※	5,786	<b>5,821</b>	34	0.6%	—	—	—
ROE	7.1%	<b>5.3%</b>	▲1.8%	▲25.4%	—	—	—

※当期純利益 = 親会社株主に帰属する当期純利益

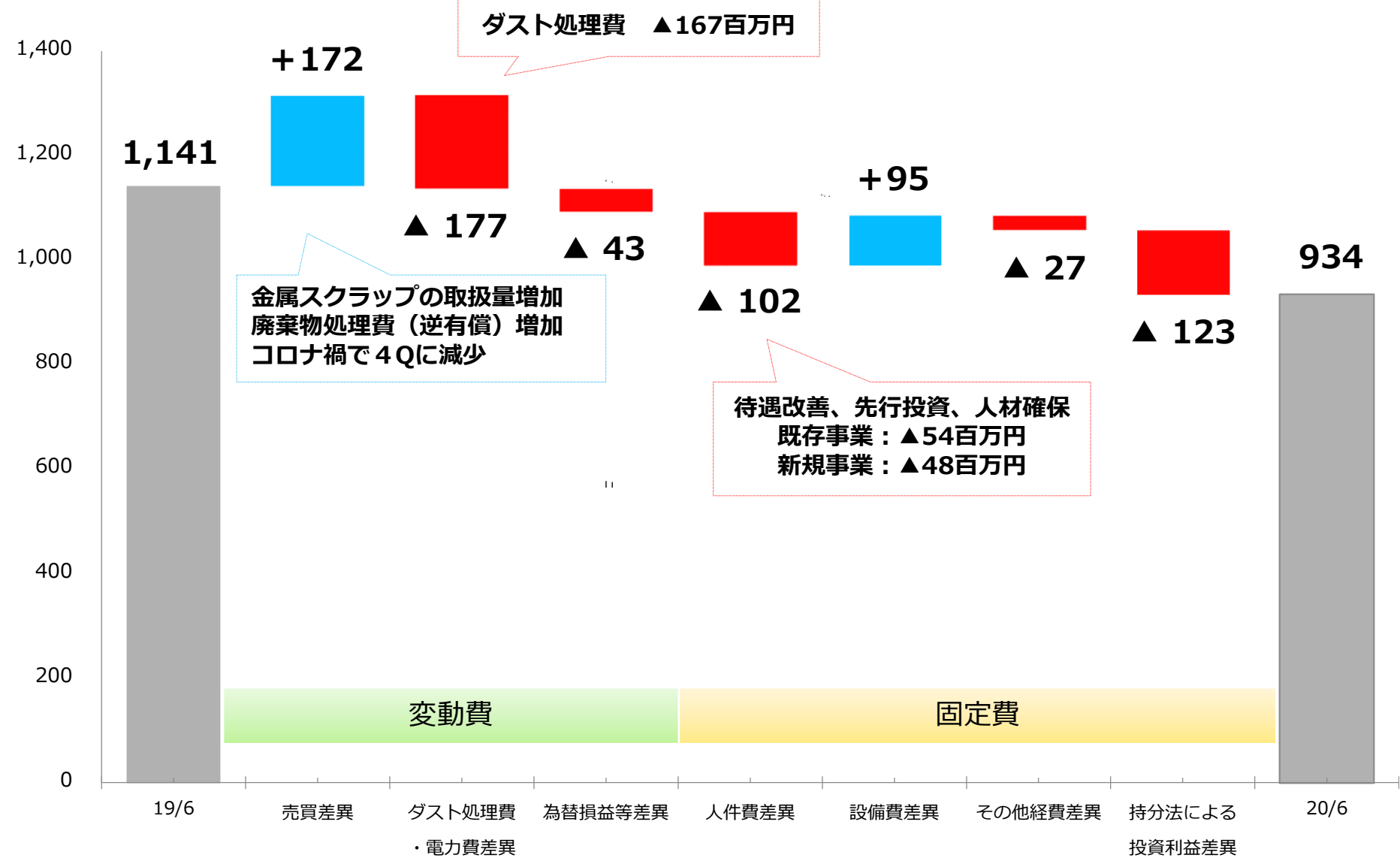
※限界利益 = 【売上高】 - 【変動費】

※E B I T D A = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却

※純粹固定費 = 【売上原価・販管費・営業外費用の固定費相当分】 - 【為替差益・持分利益を除いた営業外収益分】

# 経常利益差異分析（前年対比）

(百万円)

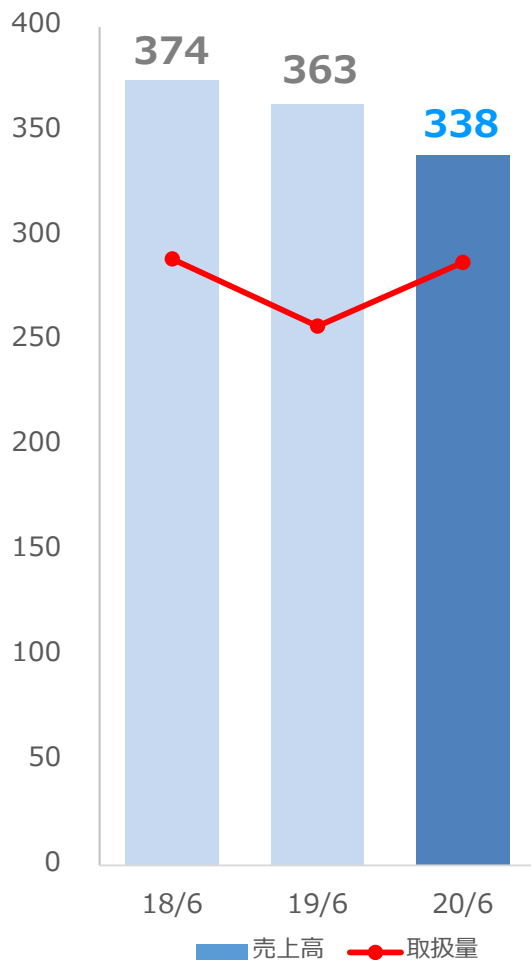


# 連結業績推移

## 売上高（取扱量）

前年同期比  
6.8%減

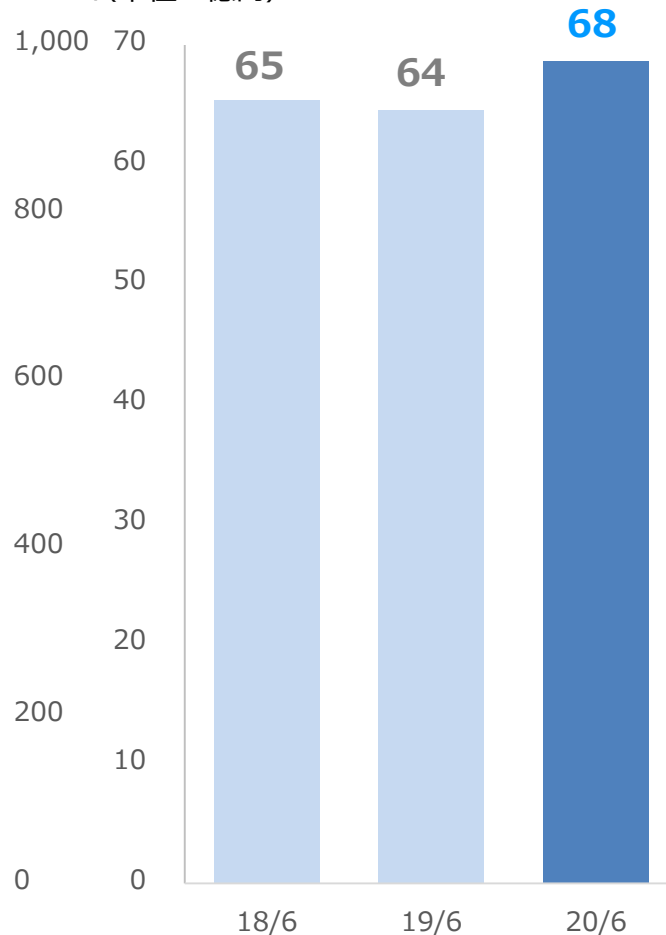
(単位：億円)



## 売上総利益

前年同期比  
6.3%増

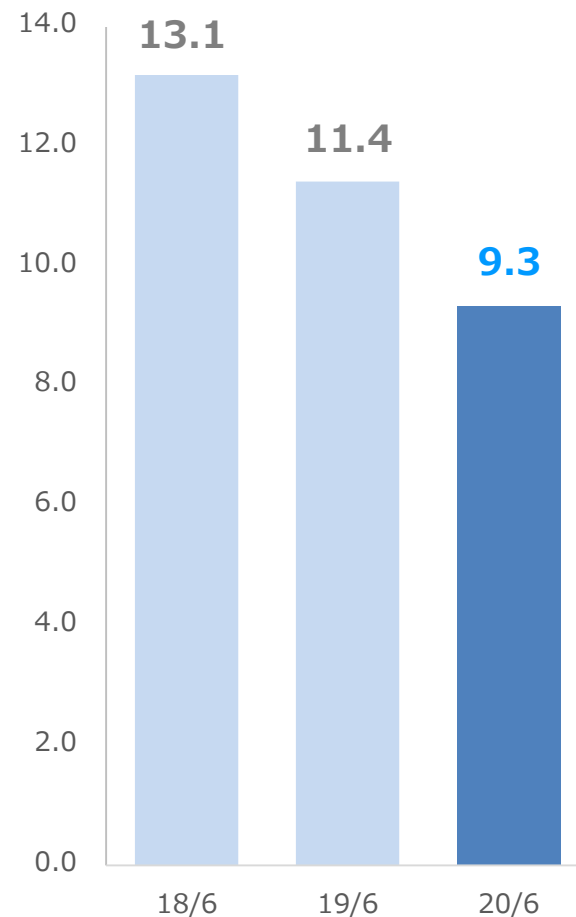
(単位：千t)(単位：億円)



## 経常利益

前年同期比  
18.1%減

(単位：億円)





# 2020年6月期 セグメント別業績概要



(単位：百万円)

売上高	2019年6月期	2020年6月期		前期比
	実績	実績	構成比	増減率
連結	36,336	<b>33,879</b>	100.0%	▲ 6.8%
資源循環事業	12,712	<b>10,786</b>	29.3%	▲ 15.2%
グローバル資源循環事業	21,870	<b>20,108</b>	54.5%	▲ 8.1%
中古自動車関連事業	6,195	<b>5,683</b>	15.4%	▲ 8.3%
その他※	382	<b>295</b>	0.8%	▲ 22.9%
調整額	▲ 4,824	<b>▲ 2,994</b>	-	-

セグメント利益	2019年6月期	2020年6月期		前期比
	実績	実績	構成比	増減率
連結	1,141	<b>934</b>	100.0%	▲ 18.1%
資源循環事業	833	<b>420</b>	38.6%	▲ 49.6%
グローバル資源循環事業	448	<b>600</b>	55.1%	33.8%
中古自動車関連事業	18	<b>38</b>	3.5%	104.1%
その他※	38	<b>30</b>	2.8%	▲ 19.9%
調整額	▲ 197	<b>▲ 155</b>	-	-

※その他には、2018年12月までの(株)E 3実績を含む

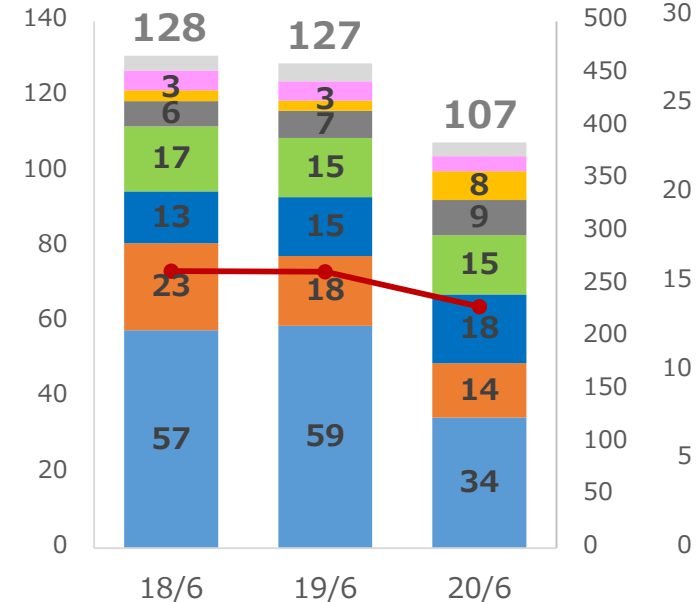
# セグメント別業績推移【資源循環】

## 売上高（取扱量）

前年同期比

15.2%減

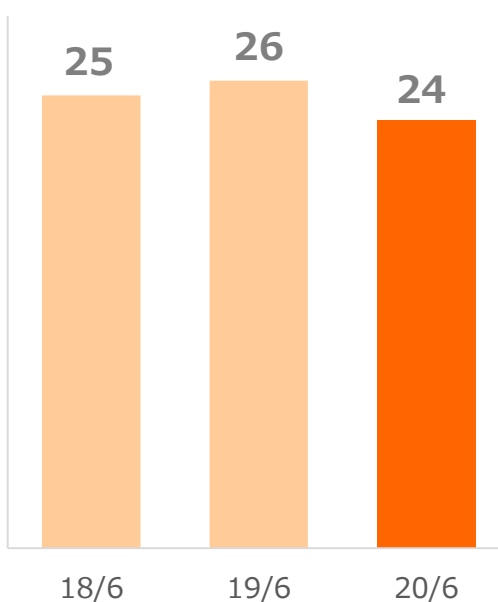
(単位：億円) (単位：千t)(単位：億円)



## 売上総利益

前年同期比

8.6%減

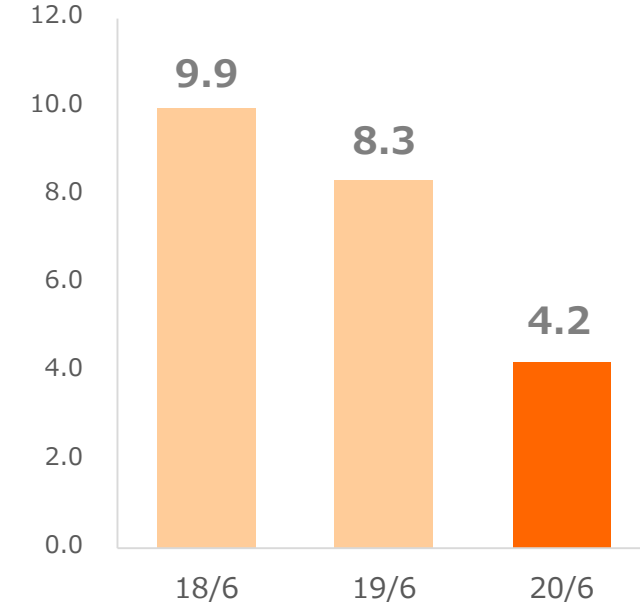


## 経常利益

前年同期比

49.6%減

(単位：億円)



鉄 非鉄金属 逆有償 ゴム製品 金銀滓  
 解体・片付け等 製紙原料等 その他 合計取扱量 (右)

- 鉄・非鉄金属スクラップ価格が下げ相場で弱含みに推移し収益を圧迫。
- 逆有償売上、金銀滓売上が伸び収益を下支え。
- 3月後半から新型コロナウイルスの影響が出始め、取扱量が減少し収益は減少。
- LIBリサイクル設備が稼働し、B Sの販売がスタート。
- プラスチックの MATERIAL 事業（プラ2プラ）をエコネコルに吸収合併。
- 新規事業（VOLTA、プラ2プラ等） 経常損失 2.2億円（前年同期 経常損失1.1億円）。

# セグメント別業績推移【グローバル資源循環】

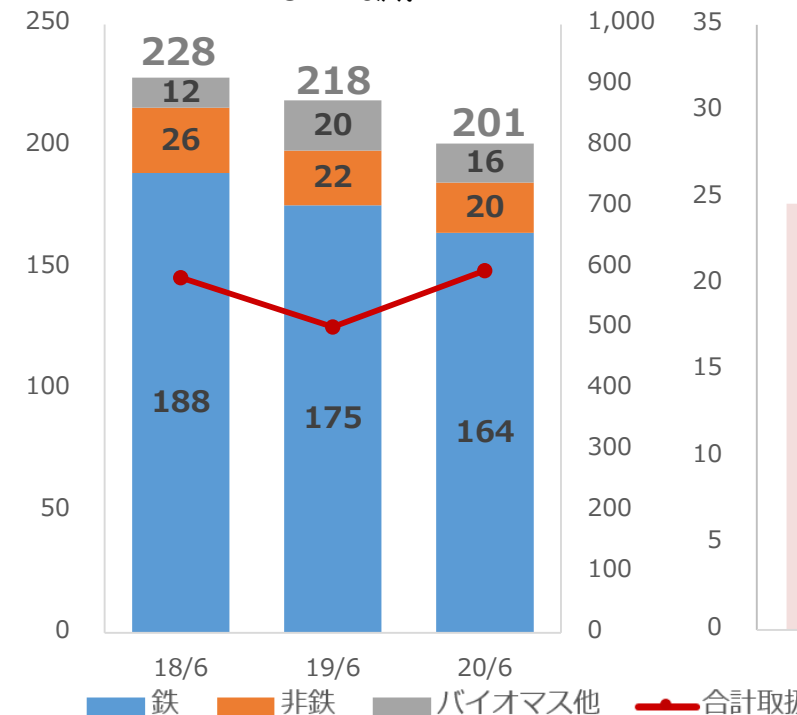


## 売上高（取扱量）

前年同期比

8.1%減

(単位：億円) (単位：千t) (単位：億円)

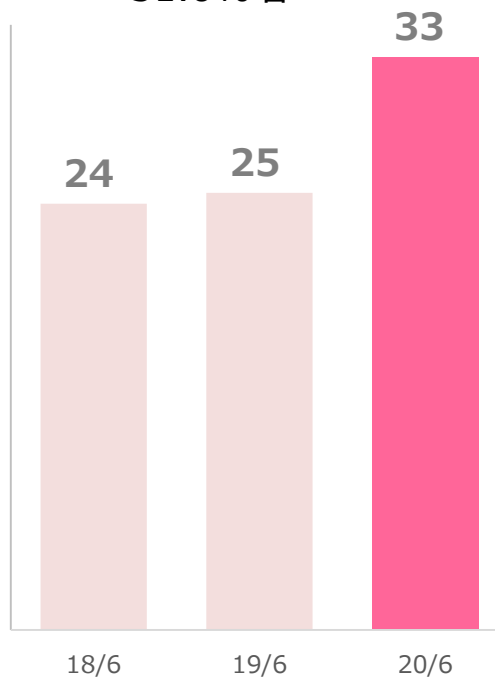


## 売上総利益

前年同期比

31.0%増

(単位：億円)

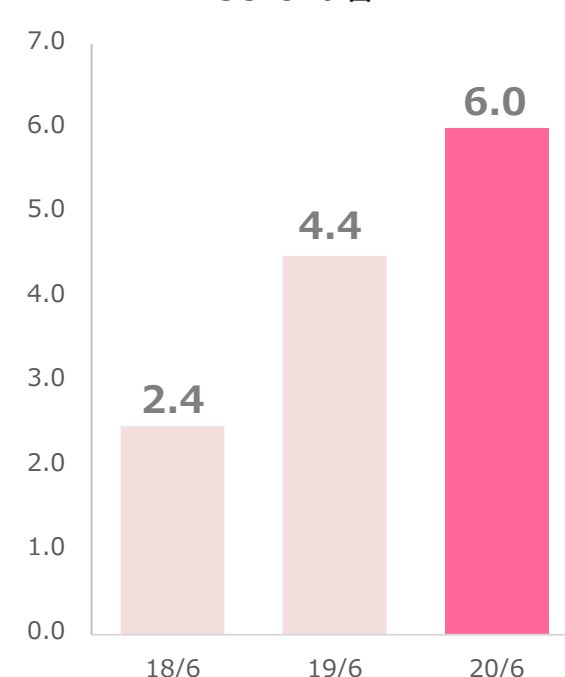


## 経常利益

前年同期比

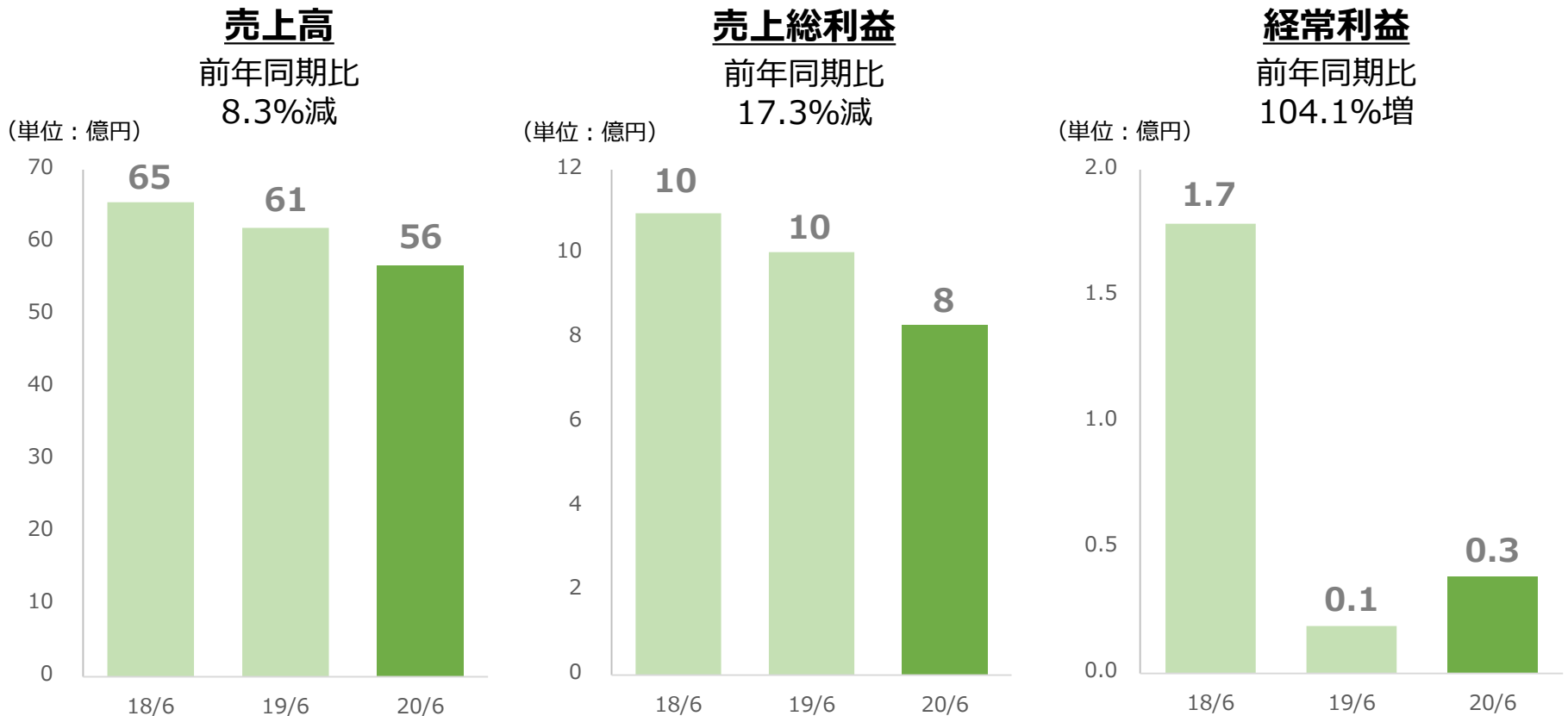
33.8%増

(単位：億円)



- 国内鉄鋼生産量が減少する中、世界第3位の鉄スクラップ輸出国である日本の輸出量は前年比で増加。
- 鉄・非鉄スクラップのベトナム向け販売が前年を大きく上回って推移したこともあり取扱量が増加。
- 2019年5月に尼崎に集荷ヤードを新規開設したのに加え、2020年4月には川崎の集荷ヤードを拡張した事により取扱量が増加。
- 日本国政府専用航空機の販売（2機の内残り1機分）。
- バイオマス燃料（PKS）の、日本マーケットへの初出荷を実現（7月）。
- 欧州駐在事務所を開設（10月）し欧米から日本・東南アジア向けのビジネスを開始。

# セグメント別業績推移【中古自動車関連】



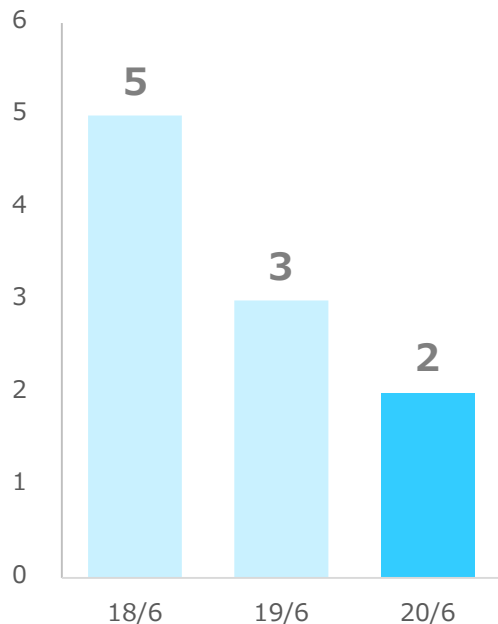
- 2月までの状況
  - ・ 主要輸出先の1つである南米での中古車需要は弱含みで推移。
  - ・ 東南アジア向け中古トラック部品の販売が増加。
  - ・ ウガンダでの中古車販売・整備事業の収益が改善。
  - ・ 海外規制の影響により前年同期低調であった物流代行サービスの取扱量が回復。
  - ・ 輸出車両積み込みヤードの縮小等による固定費の減少。
- 2月までは順調に推移したが、3月以降新型コロナウイルスによる影響で、中古車・中古エンジン等の市況が低迷。海外現地法人は、ロックダウン等の影響を受けて営業を縮小・停止し収益が急激に減少。

# セグメント別業績推移【その他】

## 売上高

前年同期比  
22.9%減

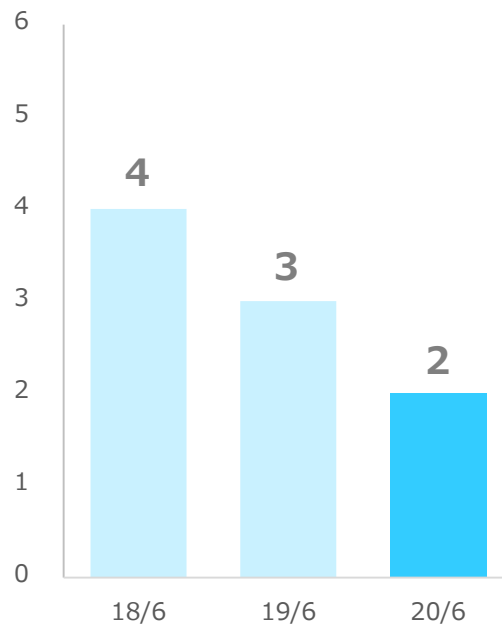
(単位：億円)



## 売上総利益

前年同期比  
22.5%減

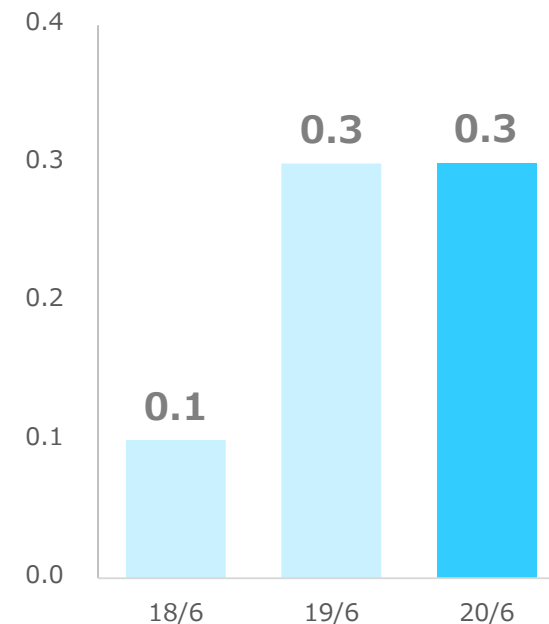
(単位：億円)



## 経常利益

前年同期比  
19.9%減

(単位：億円)



### 《環境経営コンサルティング事業》

- CDP回答及び評価向上支援等の継続受注案件が順調に進捗。
- TCFD（気候変動関連財務情報開示タスクフォース）対応支援、サーキュラーエコノミー関連コンサルティング等の新たなサービスを開始。

### 《障がい福祉サービス事業》

- 静岡県富士宮市に就労継続支援B型事業所を開設（8月）。
- 認知度向上により延べ利用者数が増加し通期黒字化を達成。

※その他には、2018年12月までの(株)E3実績を含む

# 連結貸借対照表概要



(単位：百万円)

	2019年 6月末	2020年 6月末	増減額		2019年 6月末	2020年 6月末	増減額
流動資産	11,152	16,529	5,377	流動負債	5,172	7,499	2,327
固定資産	8,607	9,383	776	固定負債	3,025	6,401	3,375
（有形固定資産）	6,130	6,729	598	負債合計	8,197	13,900	5,702
（無形固定資産）	89	70	▲ 19	純資産	11,562	12,012	450
（投資その他の資産）	2,386	2,584	197	（株主資本）	11,166	11,577	411
資産合計	19,759	25,913	6,153	負債純資産合計	19,759	25,913	6,153

## 主要TOPICS

- 流動資産（現金及び預金7,528百万円、受取手形及び売掛金▲449百万円、商品及び製品▲1,340百万円）
- 固定資産（建物及び構築物199百万円、機械装置及び運搬具649百万円、建設仮勘定▲268百万円）
- 流動負債（短期借入金1,660百万円、1年以内返済予定の長期借入金1,155百万円）
- 固定負債（長期借入金3,353百万円）
- 自己資本比率 45.0%（前年対比11.7%減）

# 連結キャッシュ・フロー計算書概要



(単位：百万円)

項目	2019年6月期	2020年6月期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲ 87	2,632	2,720
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 601	▲ 1,001	▲ 399
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 1,440	5,897	7,337
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲ 12	▲ 0	12
現金及び現金同等物の増減額	▲ 2,142	7,528	9,670
現金及び現金同等物の期首残高	4,856	2,714	▲ 2,142
現金及び現金同等物の期末残高	2,714	10,242	7,528

## 主要TOPICS

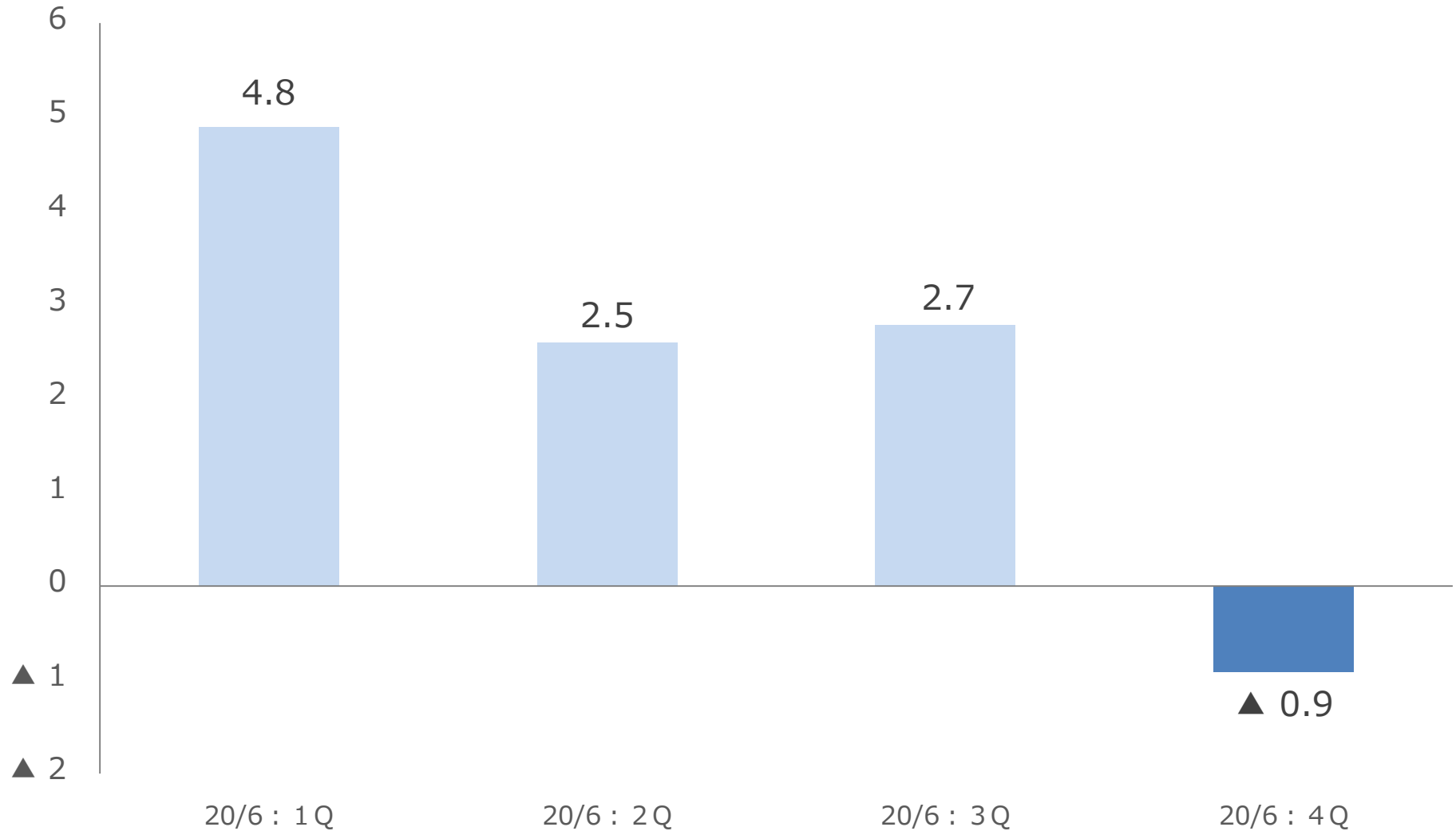
- 営業CF：(収入) 売上債権の減少額449百万円、税金等調整前当期純利益918百万円、  
たな卸資産の減少額1,350百万円  
(支出) 法人税等の支払額411百万円
- 投資CF：(収入) 国庫補助金の受取237百万円  
(支出) 有形固定資産の取得1,249百万円
- 財務CF：(収入) 長期借入金の増加額4,995百万円、短期借入金の増加額1,660百万円  
(支出) 長期借入金の返済485百万円、配当金の支払額234百万円

## 2. 新型コロナウイルス感染拡大の影響と対策

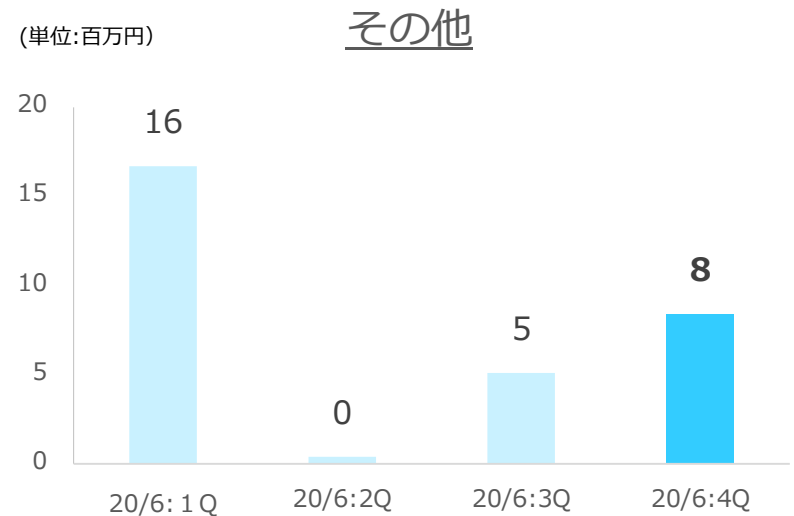
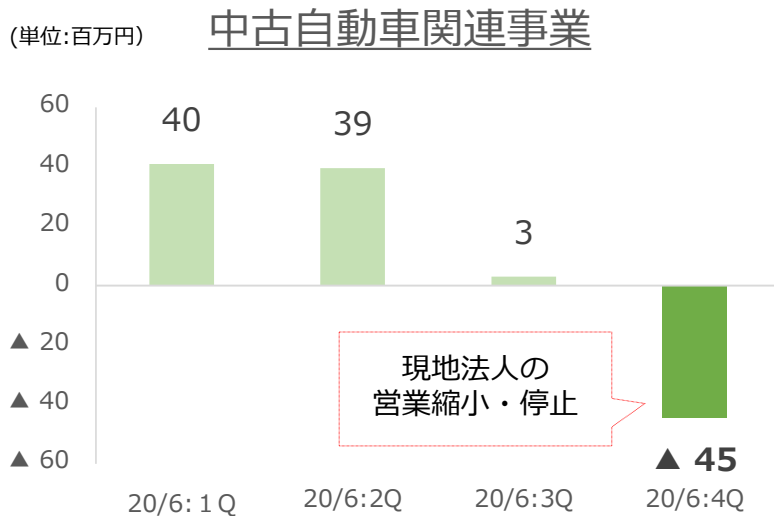
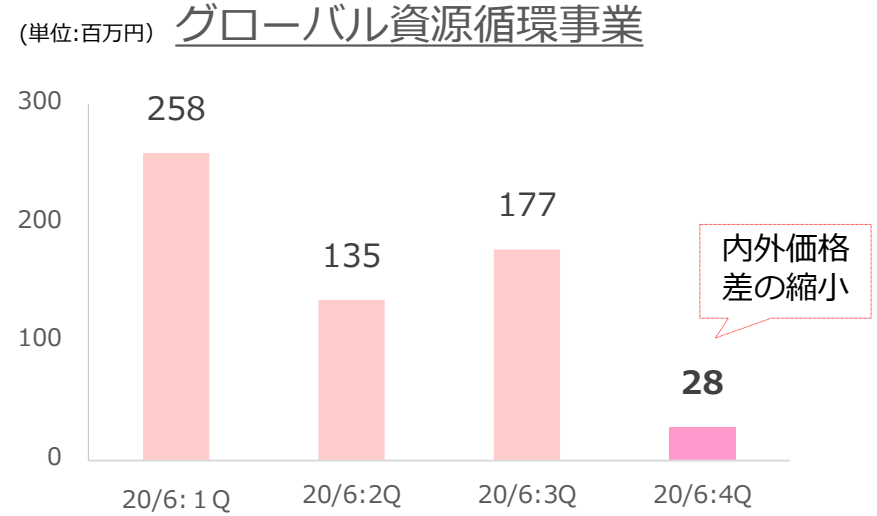
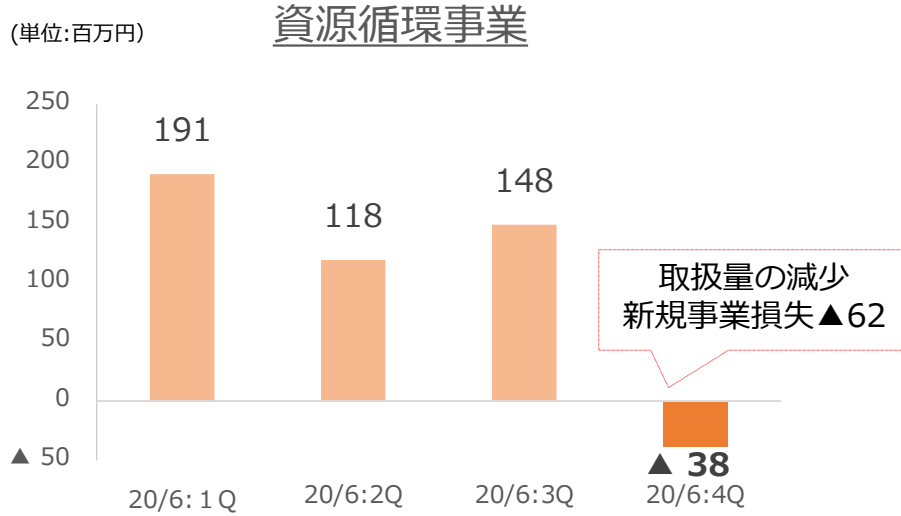


# 2020年6月期 連結経常利益の四半期推移

(単位：億円)



# 2020年6月期 セグメント利益の四半期推移



# 新型コロナウイルス感染拡大への対応

## 感染拡大防止への取り組み

新型コロナウイルス対策基準を制定し、状況変化に合わせてながら逐次改訂、従業員及び関係者への周知を徹底して実施

## キャッシュイズキング / 仕事のリストラ / 存在意義の再確認

### キャッシュイズキング（短期的観点の取り組み）

営業、管理、生産の全ての部門でキャッシュ管理を徹底する

- ・人件費・経費の管理強化
- ・不採算事業・業態の見直し
- ・労働安全体制を強化して事故や労災による資金流失の防止

### 仕事のリストラ（中期的観点の取り組み）

コロナ禍をきっかけに今までの仕事のやり方を根本から見直し、会社を大きく「変容」させる

- ・リモートワークやWEBミーティング、フレックスタイム制の実行
- ・IoTやロボットを活用したプラントの遠隔管理の研究
- ・メンバーシップ型からジョブ型への移行と評価の仕組みづくりを模索

### 存在意義の再確認（根本的かつ長期的観点の取り組み）

持続可能社会実現のために世の中から強く必要とされる会社になる

- ・リサイクル原材料製造メーカーとしてのサーキュラーエコノミーの実現
- ・資源循環×デジタルで、プラットフォームとしての役割を強化して資源回収効率を向上
- ・化学系の技術を駆使したリサイクルシステムを確立して100%リサイクルを実現

## 手元流動性の確保（2020年4月～）

### 長期借入およびコミットメントライン契約により新たに65億円を確保

新型コロナウイルスの感染拡大により経済状況の先行き見通しが急激に悪化することを想定し、最大リスクへの対応策として手元流動性を確保

→ 4月：長期借入15億円、5月：長期借入30億円、コミットメントライン20億円

---

## 3. 2021年6月期 見通し

# 足元の事業環境と業績予想の前提条件

## 足元の事業環境

### ◆ 資源循環事業

- ・ 金属スクラップ、廃棄物発生量が減少傾向。
- ・ 解体工事については回復傾向。大型案件に進捗あり。
- ・ 貴金属価格が上昇。金銀滓の収益性が向上。

### ◆ グローバル資源循環事業

- ・ 鉄スクラップ主要販売先である韓国、台湾、ベトナムは現時点で販売に影響なし。
- ・ 非鉄スクラップはコロナ禍から早期に回復した中国からの引き合いは引き続き好調。東南アジア地区も徐々に引き合い回復傾向。インドの新型コロナウイルス感染拡大は未だ終息していないが、経済活動を再開させる動きがあり、引き合いは増加傾向。
- ・ 世界各国で新型コロナウイルス感染拡大が継続しており、今後も注視が必要。

### ◆ 中古自動車関連事業

- ・ UAEでは6月下旬から空港も動き始め8月以降にバイヤーの動きとともに徐々に回復傾向。
- ・ チリでは度々の延長によりロックダウン継続中だが、周辺国の市況は徐々に回復傾向。
- ・ ウガンダでは商用車の市況は徐々に回復傾向。現地の整備事業は法人顧客からの整備依頼が回復。またタクシー配車サービスを利用する個人事業主の車両の検査の受注が堅調。

## 業績予想の前提条件

### ◆ 感染拡大の影響

上期：経済活動の低迷から取扱量約8割の推移を想定

下期：経済活動の改善を見込み取扱量8割から徐々に回復していくことを想定

業績予想前提条件：鉄相場20千円/t (24.0千円)、銅相場550千円/t (710千円)、為替105円/USD(106円台)

※ ( ) 内は8月17日時点価格

# 2021年6月期業績見通し（連結）



（単位：百万円）

	2019年6月期	2020年6月期	2021年6月期		
	実績	実績	予想	増減額	増減率
売上高	36,336	33,879	<b>28,860</b>	▲ 5,019	▲14.8%
売上総利益	6,454	6,861	<b>6,726</b>	▲ 135	▲2.0%
営業利益	839	790	<b>510</b>	▲ 280	▲35.5%
経常利益	1,141	934	<b>600</b>	▲ 334	▲35.8%
税金等調整前当期純利益	1,138	918	<b>614</b>	▲ 303	▲33.1%
当期純利益※	787	602	<b>410</b>	▲ 192	▲31.9%
限界利益※	6,681	6,632	<b>6,557</b>	▲ 75	▲1.1%
E B I T D A※	1,482	1,389	<b>1,295</b>	▲ 93	▲6.7%
純粋固定費※	5,786	5,821	<b>6,038</b>	217	3.7%
ROE	7.1%	5.3%	<b>3.6%</b>	▲1.7%	▲32.1%

※当期純利益 = 親会社株主に帰属する当期純利益

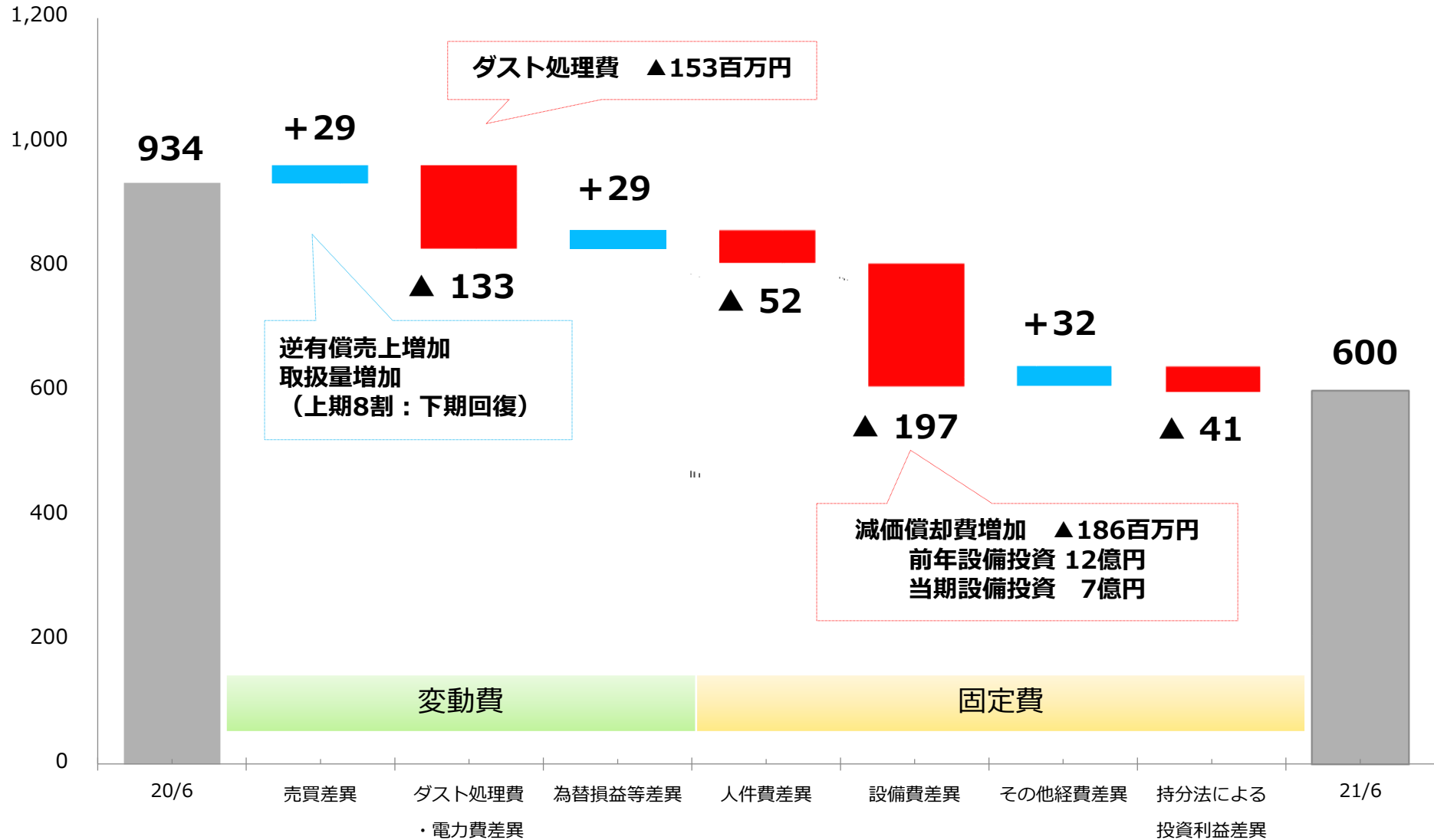
※限界利益 = 【売上高】 - 【変動費】

※E B I T D A = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却

※純粋固定費 = 【売上原価・販管費・営業外費用の固定費相当分】 - 【為替差益・持分利益を除いた営業外収益分】

# 経常利益差異分析（前年対比）

(百万円)



# 2021年6月期業績見通し 連結業績推移



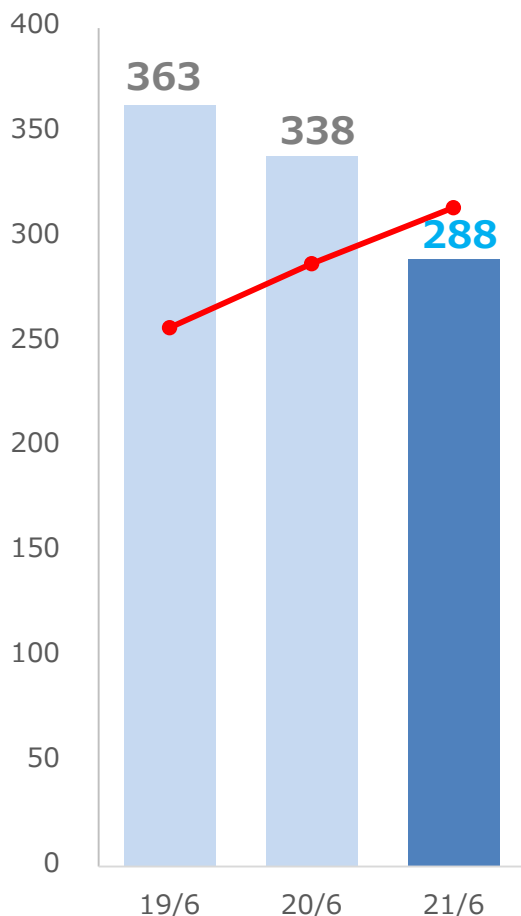
## 売上高 (取扱量)

前年同期比

14.8%減

(単位：億円)

(単位：千t)



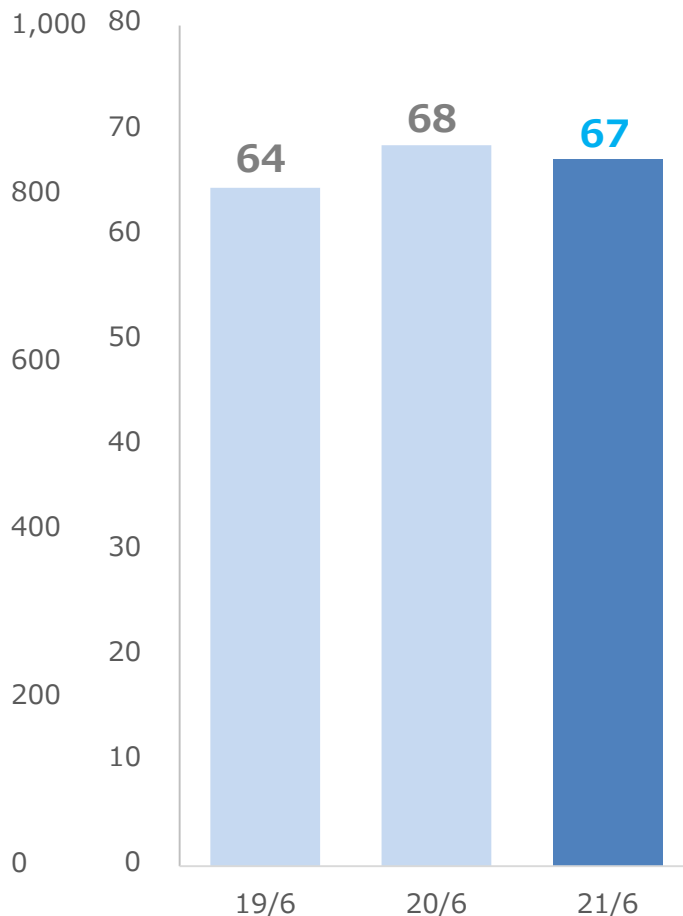
■ 売上高 ● 取扱量

## 売上総利益

前年同期比

2.0%減

(単位：億円)

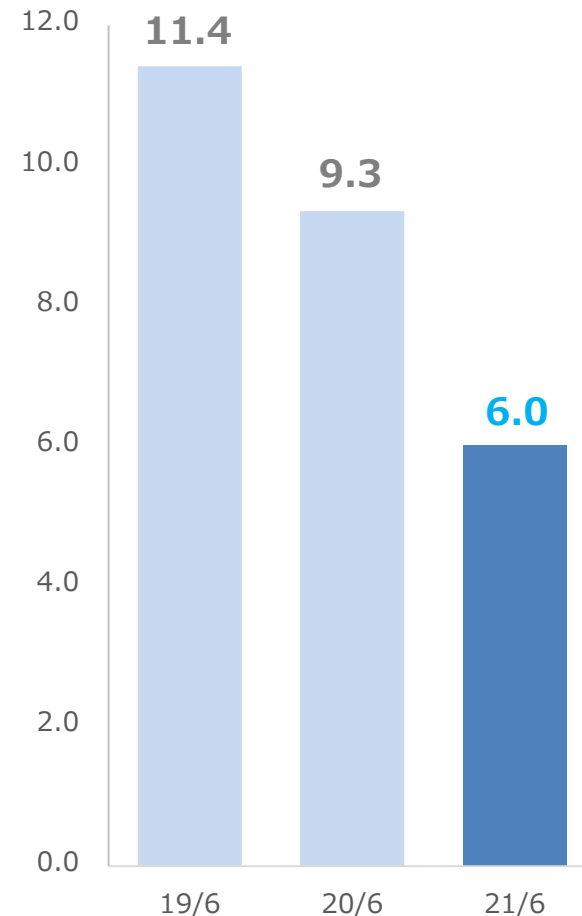


## 経常利益

前年同期比

35.8%減

(単位：億円)





# 2021年6月期 セグメント別業績概要



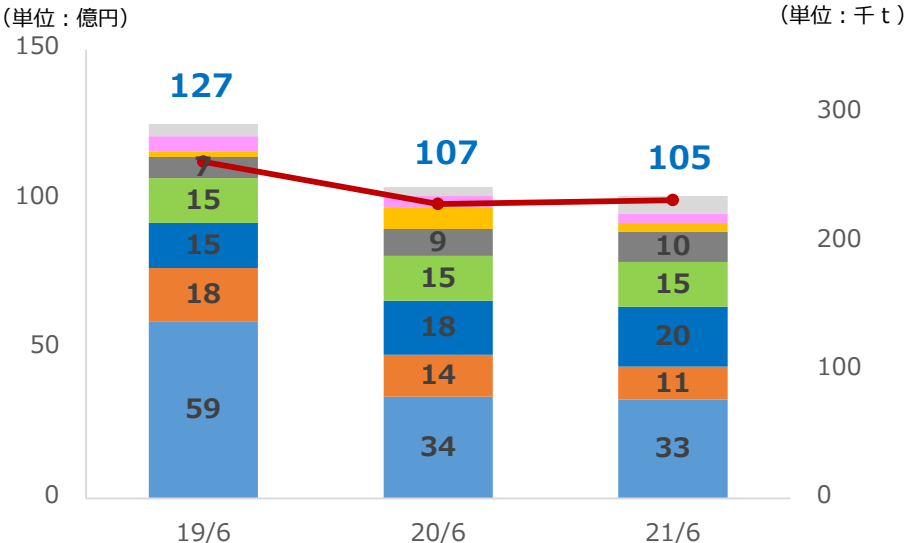
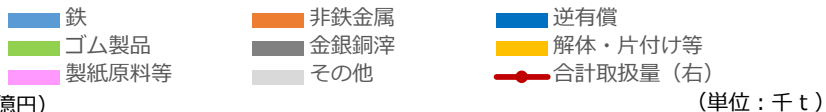
(単位：百万円)

売上高	2019年6月期	2020年6月期	2021年6月期		
	実績	実績	予想	構成比	増減率
連結	36,336	33,879	<b>28,860</b>	100.0%	▲ 14.8%
資源循環事業	12,712	10,786	<b>10,533</b>	33.4%	▲ 2.3%
グローバル資源循環事業	21,870	20,108	<b>15,809</b>	50.2%	▲ 21.4%
中古自動車関連事業	6,195	5,683	<b>4,840</b>	15.4%	▲ 14.8%
その他	382	295	<b>301</b>	1.0%	2.0%
調整額	▲ 4,824	▲ 2,994	<b>▲ 2,625</b>	-	-

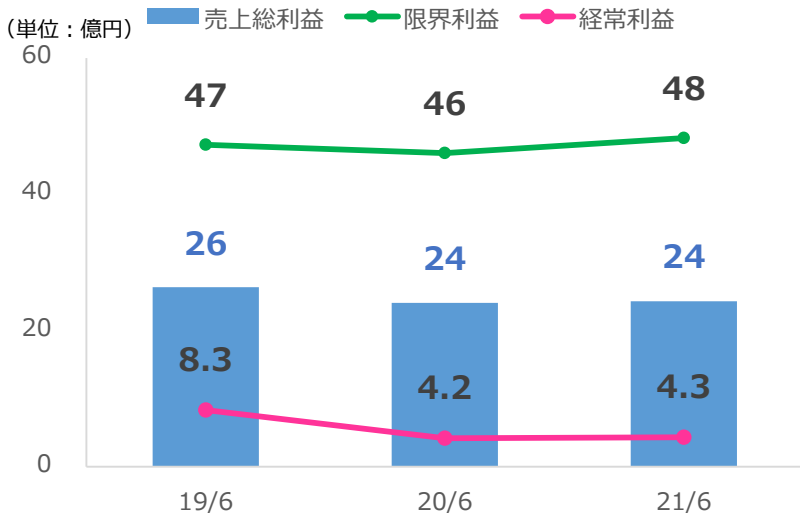
セグメント利益	2019年6月期	2020年6月期	2021年6月期		
	実績	実績	予想	構成比	増減率
連結	1,141	934	<b>600</b>	100.0%	▲ 35.8%
資源循環事業	833	420	<b>433</b>	49.8%	3.1%
グローバル資源循環事業	448	600	<b>382</b>	43.9%	▲ 36.3%
中古自動車関連事業	18	38	<b>16</b>	1.8%	▲ 57.9%
その他	38	30	<b>39</b>	4.5%	30.0%
調整額	▲ 197	▲ 155	<b>▲ 272</b>	-	-

# セグメント別業績推移【資源循環】

## 品種別売上高・合計取扱量



## 売上総利益・限界利益・経常利益



金属スクラップの価格変動の影響が大きい

- ・ 価格が高い方が利益が出やすい
- ・ 価格上昇局面の時に利益が出やすい

**(戦術)** 価格変動を活用すると同時に価格変動の影響を受けにくい事業分野を増やしていく

## 利益創出要因

加工による付加価値向上

### 相場の影響大

- ① 鉄・非鉄金属取扱量 (16.2万t→16.0万t)
- ② レアメタル (ニッケル、コバルト含有のBS)  
BS取扱量 17t→400t
- ③ 金銀滓売上 (9億円→10億円)

### 相場に左右されにくい分野

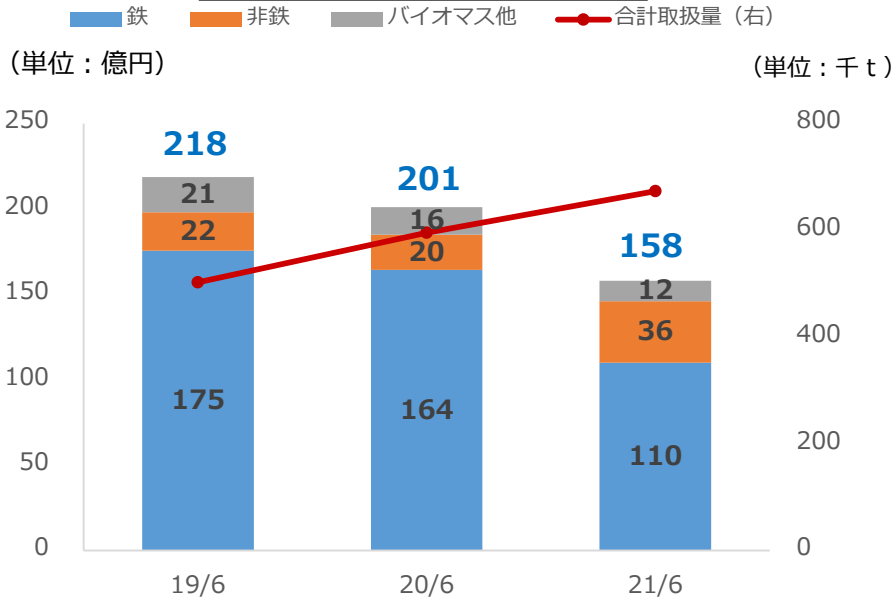
- ④ 逆有償売上 (産業廃棄物・低品位LIB等)
- ⑤ 解体工事・片付け・土壌浄化
- ⑥ 中古プラント及び中古品の販売

## 主な取り組み

- ① 逆有償取扱量の増加
- ② LIBリサイクル量の増加
- ③ 落じん灰リサイクル量の増加
- ④ 解体・片付け案件の営業強化
- ⑤ 自治体発生の製品プラへの新規取り組み
- ⑥ 航空機リサイクルの仕組みづくり
- ⑦ 新製品の市場浸透 (東洋ゴムチップ)
- ⑧ 生産現場における予防保全の強化

# セグメント別業績推移【グローバル資源循環】

品種別売上高・合計取扱量



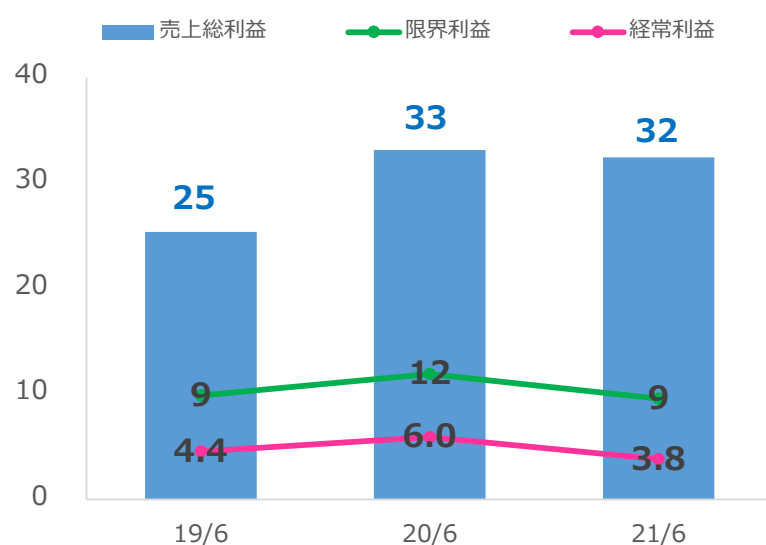
金属スクラップの価格自体の影響は比較的少ない  
日本国内の鉄鋼生産量減少により今後更に輸出傾向強まり取扱増に期待

## 利益創出要因

取扱量 × 利幅 (利益率)

- ① リードタイム中の海外・国内価格の差
- ② 取扱量
- ③ 価格変動の活用

売上総利益・限界利益・経常利益



## 主な取り組み

- ① 金属スクラップ取扱量の増加
  - ・鉄スクラップ (53万t → 55万t)
  - ・非鉄スクラップ (2.5万t → 4万t)
- ② 国内集荷ヤードの拡張、新規開設
- ③ 輸入原料取扱量の増大 (2万t → 6万t)
  - ・PKS集荷の海外現地法人のマレーシア・インドネシアヤード (2箇所) 活用
  - ・欧州からの基板・金銀滓・LIBの輸入
- ④ 取扱いアイテムの増加
  - ・鉄、非鉄半製品等
- ⑤ 三国間貿易の促進
  - ・欧州 → 東南アジアへの販売

---

## 4. 中長期の取り組み

# 中長期の取り組み

- ① LIBリサイクル事業の取り組み強化
- ② 金銀滓回収事業の拡大
- ③ バイオマス燃料取扱量の拡大
- ④ 廃プラスチックリサイクルの新たな取り組み
- ⑤ その他
  - ・ サーキュラーエコノミー・コンサルティング
  - ・ RE100の取り組み

# ①LIBリサイクル事業の取り組み強化

急拡大する二次電池市場に対し、グループの経営資源を集中的に投入して、使用済み二次電池等からのレアメタル（ニッケル・コバルト等）回収事業に本格的に参入する

## VOLTAの前期の取り組み

先行して稼働していた電極材リサイクルラインに続いて  
BS製造設備が2020年2月から試験運転を開始、6月にBSを初出荷

2018年9月 電極材リサイクルライン稼働/負極板生産開始



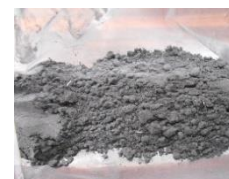
負極板



電極材リサイクルライン



銅



カーボン等

2020年2月 BS製造設備稼働



LIB



BS製造設備



BS

※LIB：リチウムイオン二次電池

※BS：ブラックサンド（コバルト、ニッケル濃縮滓）

# ①LIBリサイクル事業の取り組み強化

## 2021年6月期の取り組み

### 富士宮BS工場における下期以降の月次での黒字化

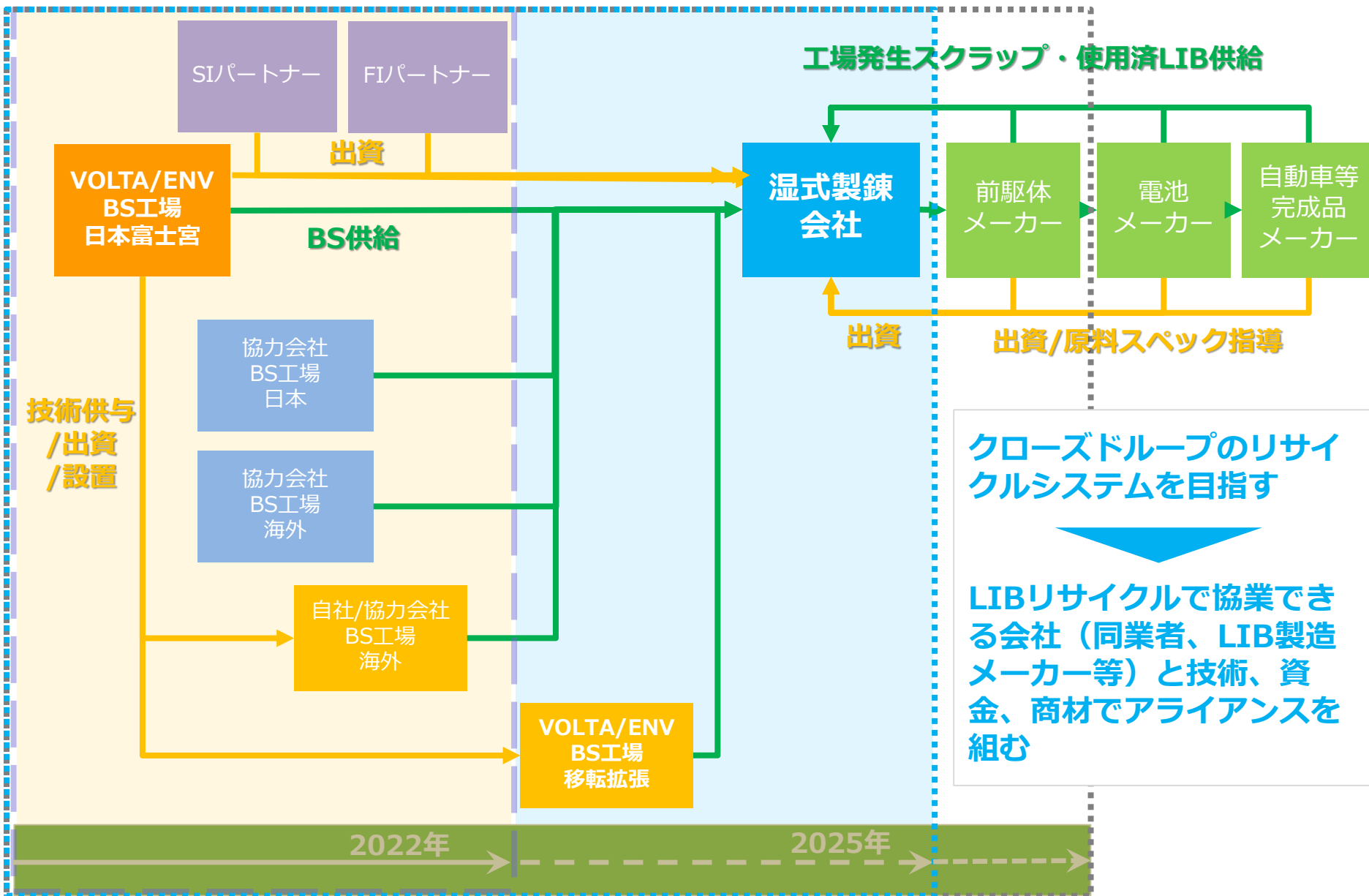
- BS100トン/月の取扱いに向けた体制整備（仕入、生産、品質管理、販売）
- 7月に取得した処分業許可を活用し低品位なLIB取扱いによる逆有償売上の増加
- 長年培った物理的な選別及び濃縮技術を活用したBSの付加価値向上
- 安全な輸送・安全な保管・安全な生産体制の確立
- LIBの種類別自動選別ラインの研究
- 使用済み自動車由来LIB及び定置式大型LIBの放電及び安全な解体の研究
- LIBリサイクル事業で日本初のR2認証を取得（2020年11月予定）
- 生産規模を拡大したBS第二工場建設に向けた電池ラインの設計

## LIBリサイクルプロジェクトチーム発足（2020年7月～2021年6月）

エンビプロ・ホールディングス内に国内外の湿式製錬の技術者をまじえたプロジェクトチームを発足し、LIBリサイクル事業で当社が目指すべき方向性（BS新工場、湿式製錬工場、前駆体工場のどこまでやるか）を決めると共に、セカンドフェーズに進んだ場合のアライアンス体制を候補会社を含め議論していく

※R2：（Responsible Recycling：責任あるリサイクル）は、米国で広く普及している使用済みの電気・電子機器を対象としたリサイクルマネジメントシステム

# ①LIBリサイクル事業の取り組み強化（セカンドフェーズ）



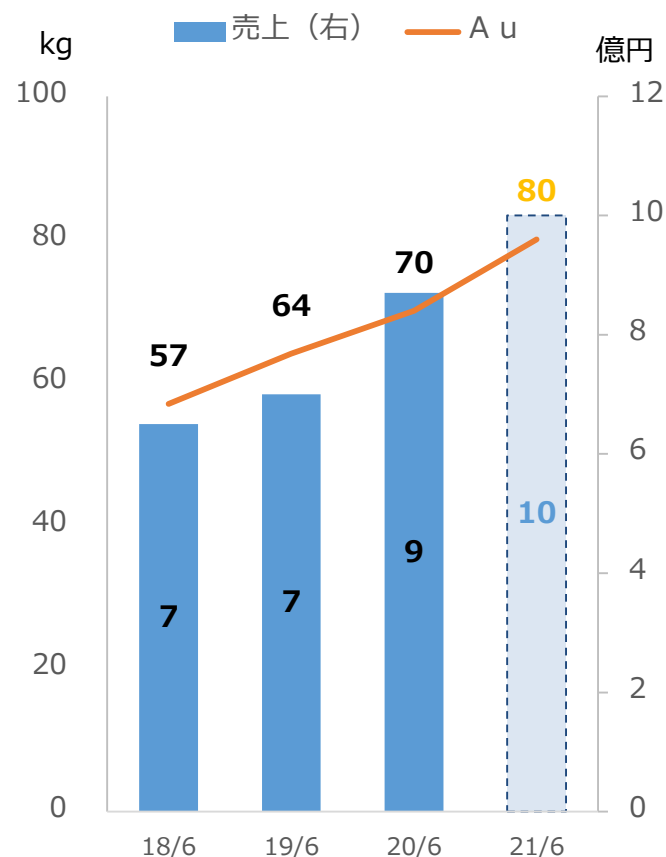


## ②金銀滓回収事業の拡大

焼却灰、自動車破碎残渣等からの金銀滓（銅、金、銀、プラチナ、パラジウムの混合物）の回収を事業の柱の1つにしていく

- 既存一般廃棄物焼却施設の落じん灰等の取引自治体数増加  
⇒現在10自治体と契約済（内、5件が落じん灰）  
25自治体が取引を検討中
- 新炉での落じん灰別取りシステム採用数の増加  
⇒2020年6月期2件実績、2021年6月期1件内示あり  
新炉稼働は2024年度から順次稼働予定
- 小型家電、雑品等からの金銀滓回収  
⇒スモールサイズの金属選別装置導入予定
- 太平洋セメントとの実証事業の継続
- 大手製錬会社からの加工受託拡大（電子基板等）
- 欧州等からの金銀滓輸入の増加  
⇒スイス、ポーランドはトライアル中、  
その他イギリス、オランダ等他3か国でトライアル交渉中

金銀滓金回収量及び売上



## ②金銀滓回収事業：落じん灰拡大戦略

マーケットシェア

焼却灰からの金銀滓マーケット240億円、

その内、落じん灰分は45億円

ストーカ炉  
240施設契約  
(全国800施設)

特許活用による事業推進

2020  
0.6%

2021  
1.5%

2022  
3%

2023  
5%

2024  
15%

2025  
30%

2025年  
落じん灰取扱量：15,900 t  
売上：13億円  
営業利益：5億円

啓発期

- ・地道な自治体営業
- ・全都清等での啓発活動
- ・焼却炉メーカーとの連携

普及期

- ・落じん灰別取り改造補助金制度の創設
- ・地域リサイクラーとの協業体制
- ・更なる選別技術革新

成長期

- ・落じん灰別取り設計のごみ処理施設設計要領への記載
- ・新設炉落じん灰の別取り100%達成

# ③ バイオマス燃料取扱いの拡大



今後更に拡大する日本市場へ、バイオマス発電所のニーズ(品質と長期安定供給)に合ったWood Pellet (ゼロカーボン燃料) を供給する

## バイオマス燃料需要予測 (日本マーケット)

(単位:万MT)

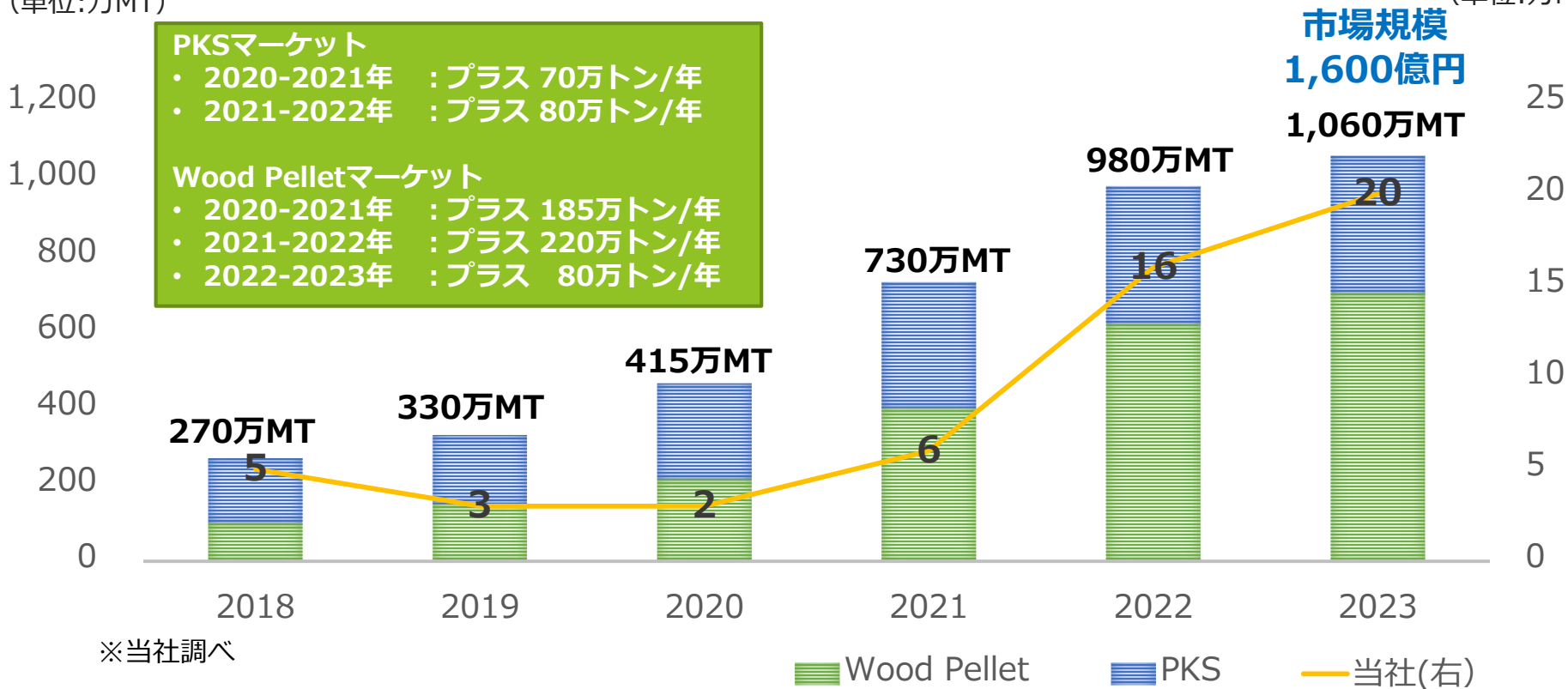
(単位:万MT)

**PKSマーケット**

- ・ 2020-2021年 : プラス 70万トン/年
- ・ 2021-2022年 : プラス 80万トン/年

**Wood Pelletマーケット**

- ・ 2020-2021年 : プラス 185万トン/年
- ・ 2021-2022年 : プラス 220万トン/年
- ・ 2022-2023年 : プラス 80万トン/年



### 拡大に向けて

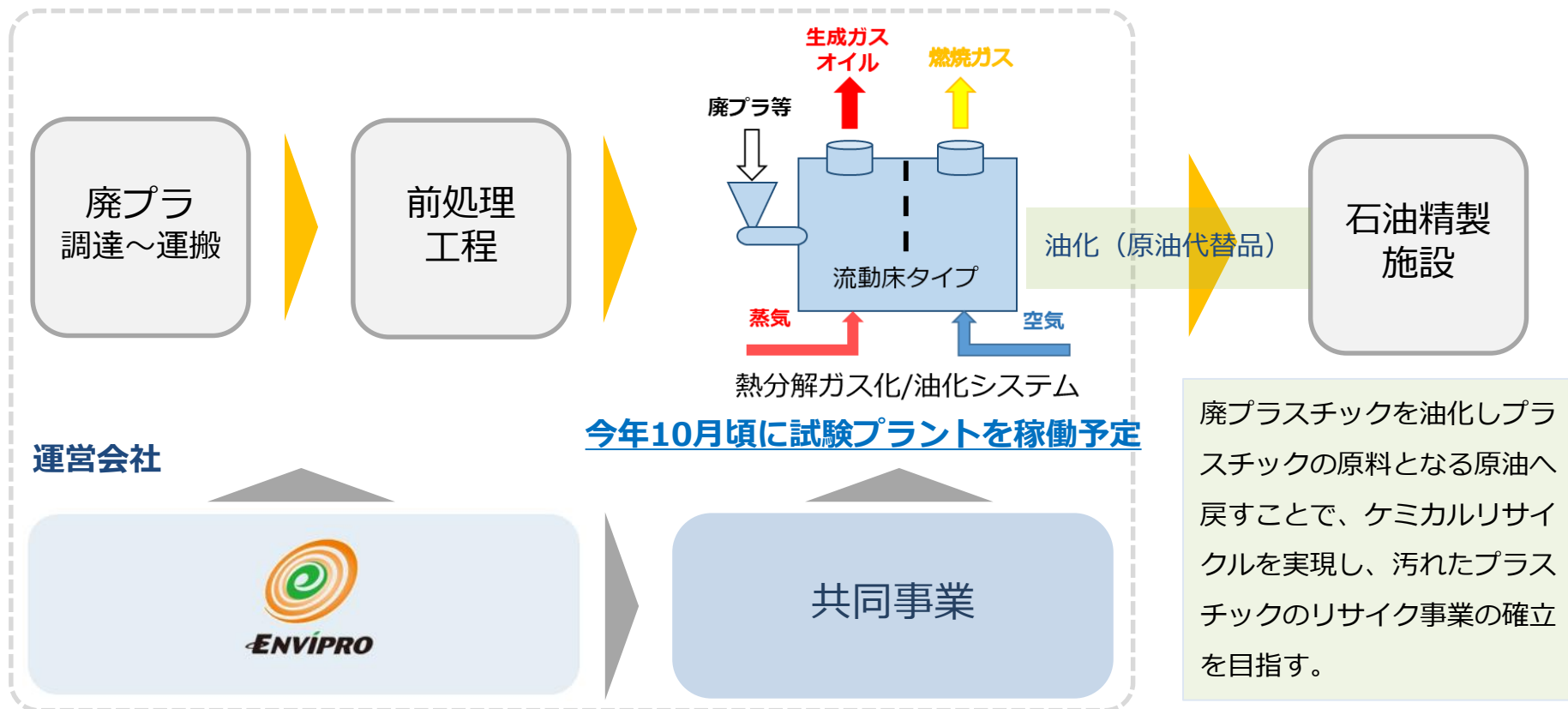
- P K S、Wood Pellet集荷拠点の拡大検討
- 海外Wood Pellet製造工場の検討

# ④ 廃プラスチックリサイクルの新たな取り組み

焼却炉メーカー、石油精製会社と共同でケミカルリサイクル技術を検証する

## ケミカルリサイクルの研究 ～都市油田を掘り起こす～

### 想定事業モデル概要



# ⑤その他：サーキュラーエコノミーコンサルティング



## 環境課題2つの大きな潮流

### 気候変動対応

気候変動対応としてのCO2削減や再エネの拡大

### サーキュラーエコノミー

EUによる資源効率的で競争力のある循環経済への移行政策パッケージの採用

気候変動関連  
コンサルティング

サーキュラーエコノミー  
コンサルティング

## ◆サーキュラーエコノミーコンサルティング & ソリューション

サーキュラー化のコンサルティングとグループのソリューションを活用した一貫サービスを提供する事で**実現性の高い資源循環モデルを提案する。**



## サーキュラーモデル構築コンサルティング

廃プラスチック対策推進の全社的な合意

大よそのターゲット容器・包装の決定

1. サーキュラーモデル事業のスキーム整理
2. 製品容器サーキュラーモデル実現可能性検証
3. リサイクル・リマニュファクチャリング実証
4. 試験運用・本格運用

製品容器・包装の資源循環スキーム構築の流れ

Phase1

製品容器の  
サーキュラーモデル事業スキーム整理

Phase2

製品容器の  
サーキュラーモデル実現可能性検証

Phase3

リサイクル・リマニュファクチャリング実証

Phase4

試験運用  
本格運用

運用継続

## サーキュラーソリューション



- ・廃プラ破碎・洗浄・選別技術
- ・廃プラペレット化技術
- ・再生原料調達/供給能力

## 東洋ゴムチップ

- ・材料素材成型ノウハウ
- ・再生材混練ノウハウ
- ・製品開発ノウハウ
- ・品質検査ノウハウ

# ⑤その他：RE100の取り組み

事業活動に要する電力を100%再生可能エネルギーで調達することを目標に掲げる企業が参加するイニシアチブ「RE100」に、リサイクル業界としては、世界で初めて参加し取り組みを継続していく



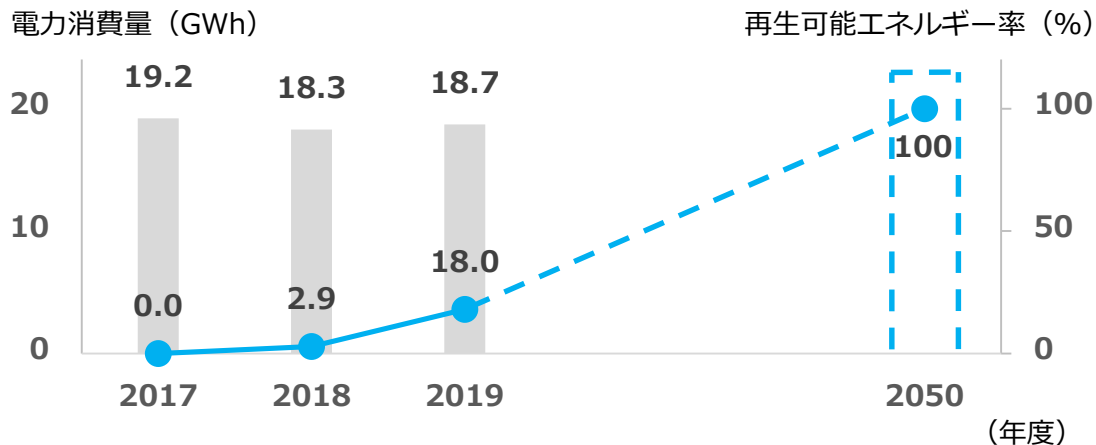
## グループのRE100 取組実績

### ■ 再生可能エネルギー電力への切替

- ・東洋ゴムチップ再エネ電力切替
- ・あずみ野プラザ再エネ電力切替
- ・エンビプロ本社再エネ電力切替

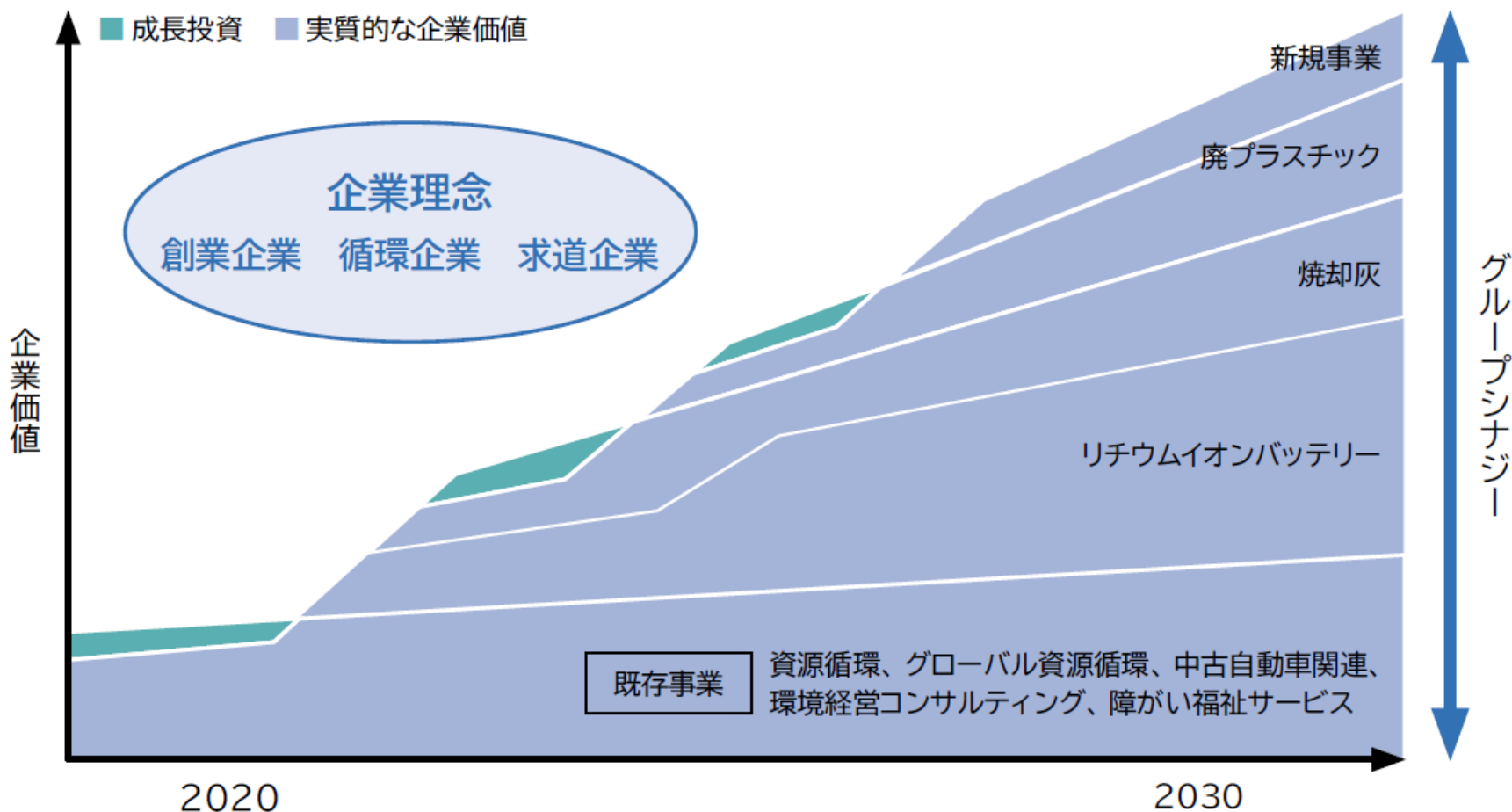
### ■ 再エネ発電設備導入

- ・あずみ野プラザ自家消費型PV設置
- ・エコネコル非鉄工場自家消費型PV設置



# 企業価値の向上イメージ図

利益配分	
成長投資	30%
研究開発	10%
株主還元	20~30%
内部留保	30~40%



事業が安定するまでは、初期投資に見合う企業価値の上昇が見込めないため、企業価値の上昇は鈍化します。緑のエリアはそのマイナス分のギャップを表しています。

---

## 5. 配当方針



## 当社の配当基本方針

- 内部留保等を総合的に勘案しながら、長期的な視野に立ち、安定的かつ継続的な利益還元を行うことを基本方針とする。
- 業績連動利益配分の指標として連結配当性向 20~30%を目標とする。
- 連結配当性向に基づく配当金が年間 10 円を下回る場合にも、年間 10 円の安定配当を目指す。

## 配当予想

2020年6月期予想

配当性向 24.4%      1株あたり配当金 10円

2021年6月期予想

配当性向 35.9%      1株あたり配当金 10円

---

## 6. 会社概要

## 企業理念

### 創業企業

つねに社会にとって必要な事業を  
創造しつづける

日々創業…初心を大切に日々創業精神で仕事をする  
歴代創業…代々初代の志を持って新事業を創造する  
全員創業…全社員が自分に合う第一人者の道を拓く

### 循環企業

助け合い、活かし合い、分かち合う  
喜びの環を回しつづける

快労…助け合い、補い合って気持ちよく働く  
活財…あらゆるもののいのちを活かして使い回す  
還元…利益や喜びを共に生きる人たちと分かち合う

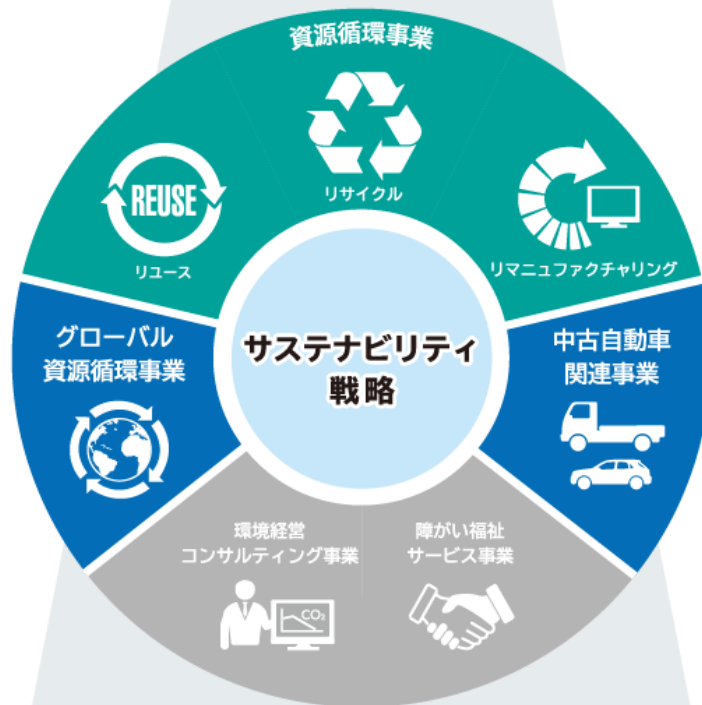
### 求道企業

永遠につづく企業の道、  
人の道を追求めつづける

選難の道…安易な道を選ばず求められる道を歩む  
独自の道…特質を生かし人のやらないことをやる  
感謝の道…生かされていることに感謝し慢心をしない

ミッションステートメント

持続可能社会実現の  
一翼を担う



成長基盤

経営基盤

企業理念

サステナビリティ戦略  
(2018年度～2022年度 5カ年戦略)

目標

社会の持続可能性と  
自社の持続可能性を  
同時に達成する

重点方針

社会的信用を格段に上げる  
ガバナンス強化およびブランディング確立の  
ため、ホールディングスの求心力を高める

経営資源の効率を格段に上げる  
サステナビリティ戦略に則った事業に集約し、  
経営資源の効率的な活用を図る

生産性を格段に上げる  
新技術・ノウハウを活用して生産性を格段に  
上げる

# グループ概要



本	社	静岡県富士宮市田中町87番地の1
代	表	代表取締役社長 佐野富和
設	立	2010年5月
グ	ル	ー
プ	会	社
連	結	子会社12社(孫会社含む)、持分法適用関連会社2社
従	業	員
数		単体37名(連結443名) ※2020年6月末現在

事業セグメント	事業会社
資源循環事業	(株)エコネコル、(株)クロダリサイクル、(株)しんえこ (株)東洋ゴムチップ、(株)VOLTA 持分法適用関連会社 (株)アビツ、(株)富士エコサイクル
グローバル資源循環事業	(株)NEWSCON
中古自動車関連事業	(株)3WM (海外子会社3社含む)
その他	(環境経営コンサルティング事業) (株)ブライトイノベーション (障がい福祉サービス事業) (株)アストコ
調整	(株)エンビプロ・ホールディングス

※従業員数は正社員数

# 国内拠点

## ■ 連結子会社（海外含む）

12社

## ■ 国内ヤード拠点数

12カ所

## ■ 国内加工拠点

10カ所

### 船積地点

場所	ヤード
北海道 函館港	鉄スクラップヤード
新潟県 直江津港	鉄スクラップヤード
千葉県 船橋港	鉄スクラップヤード、非鉄スクラップヤード
千葉県 佐倉市	中古自動車ヤード
神奈川県 川崎港	鉄スクラップヤード、非鉄スクラップヤード
静岡県 田子の浦港	鉄スクラップヤード
静岡県 清水港	鉄スクラップヤード、非鉄スクラップヤード
愛知県 飛島新港	中古自動車ヤード
愛知県 名古屋港	鉄スクラップヤード
愛知県 豊橋港	鉄スクラップヤード
大阪府 南港	非鉄スクラップヤード
兵庫県 尼崎港	鉄スクラップヤード

### 国内拠点

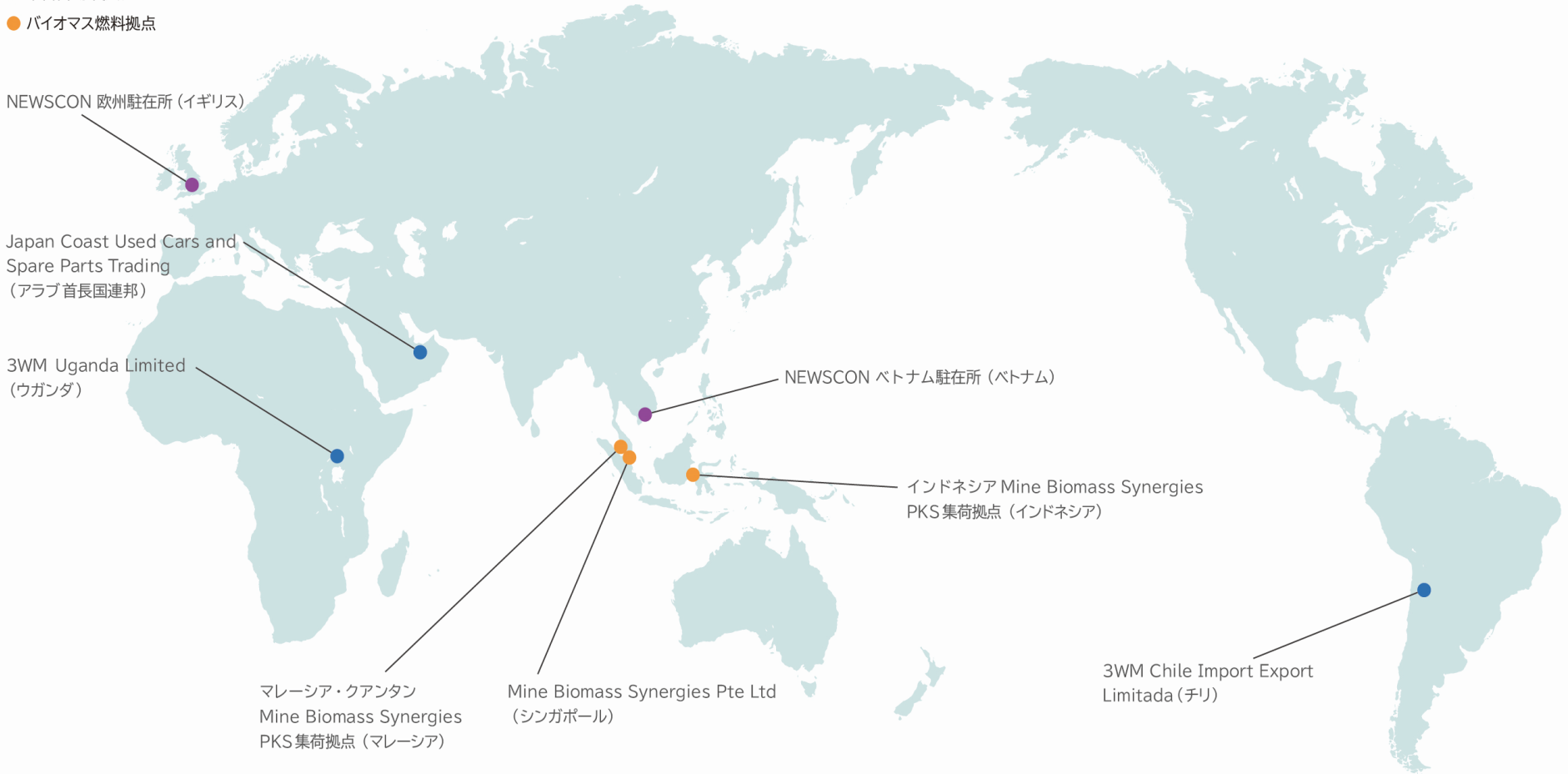
本社 = ★



# 海外拠点

## 海外拠点

- リサイクル資源営業拠点
- 中古自動車拠点
- バイオマス燃料拠点



# グループ沿革



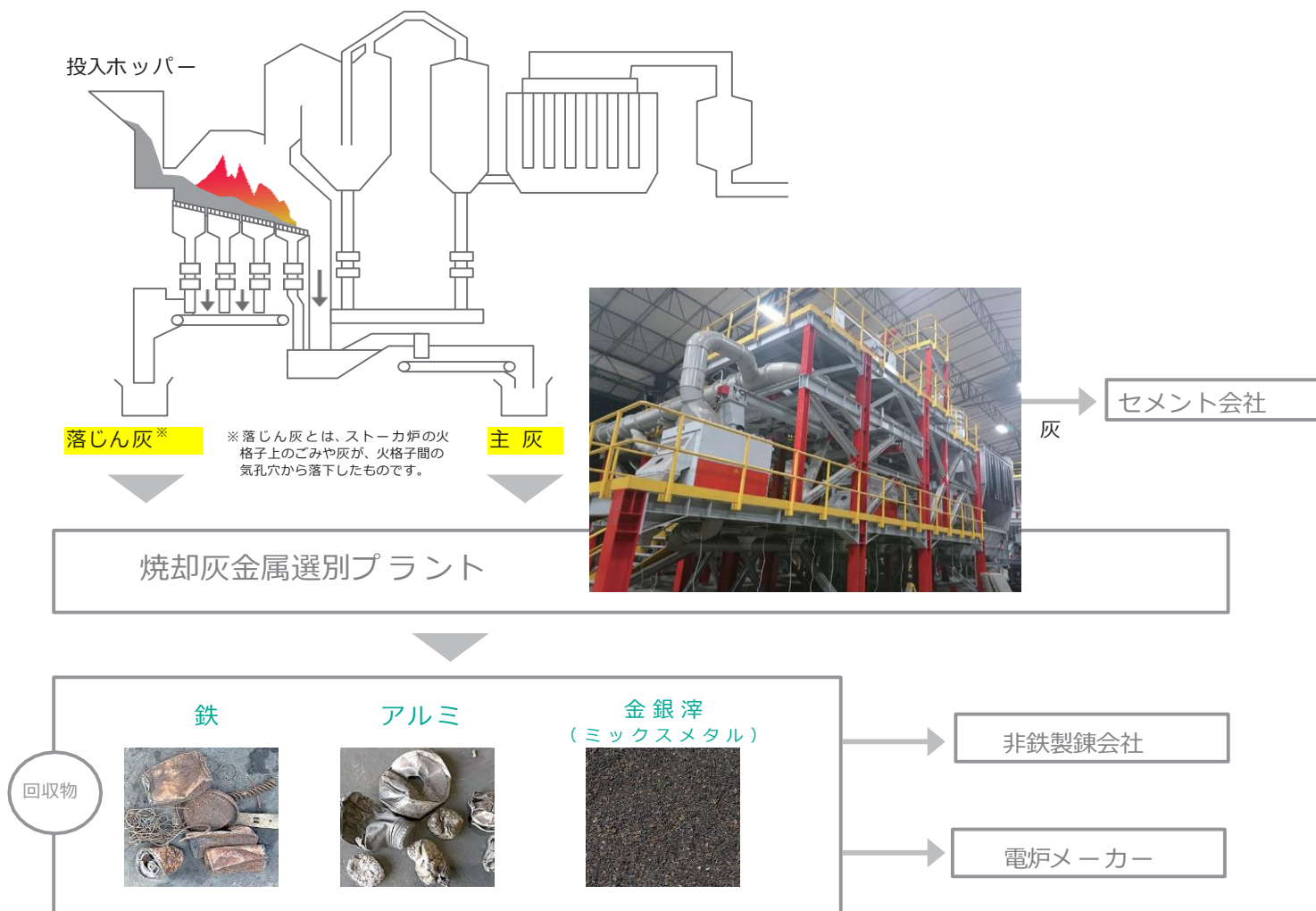
---

## 7. 參考資料



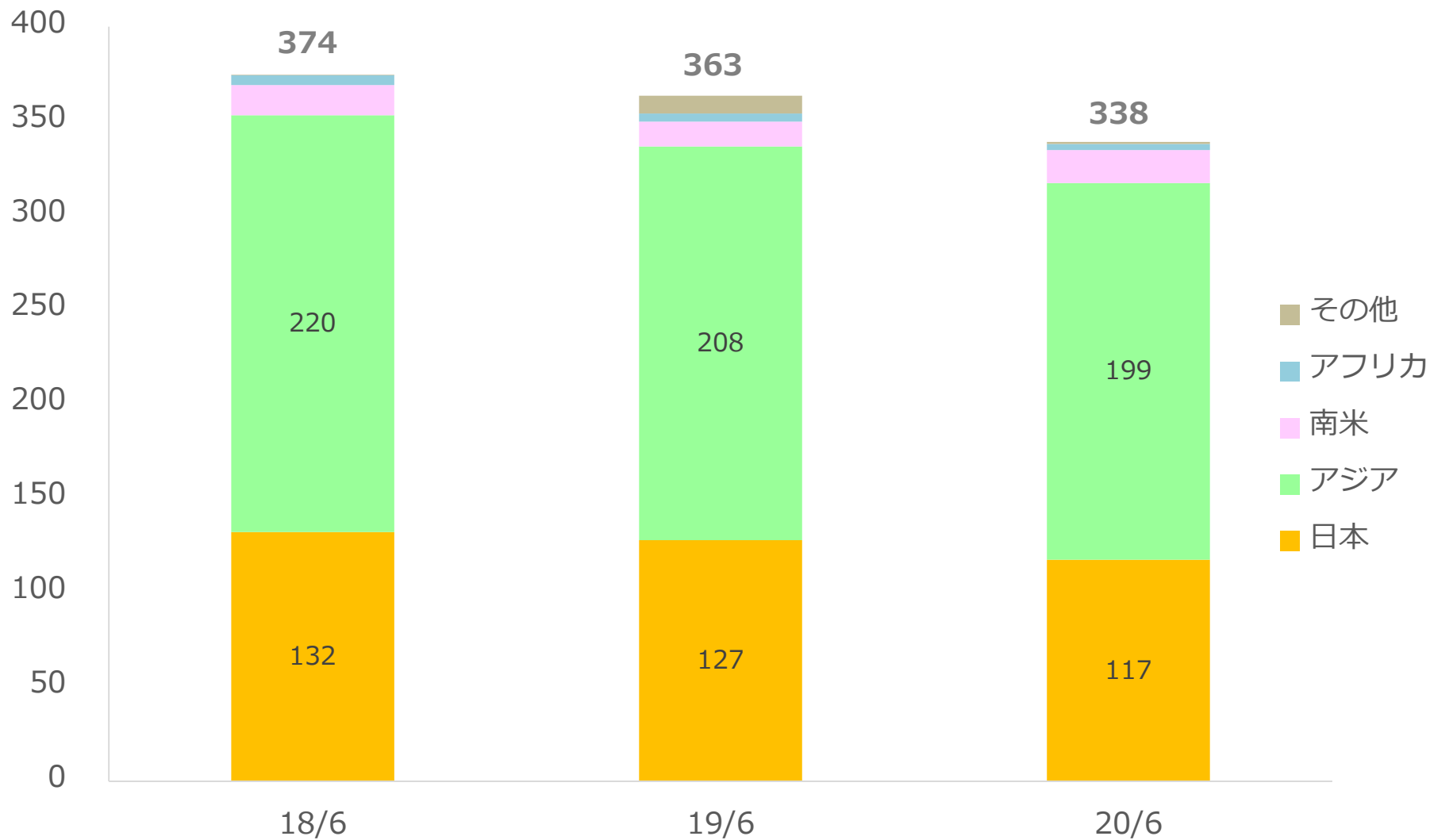
# 焼却灰金属回収事業フロー

都市ごみ焼却後の灰の中には有用金属が含まれていることは知られているが、現状ではそのほとんどが回収されずに埋立処分されている。有用金属の含有量の低さと選別費の高さが主な原因であり、選別効率を上げて事業性が確立されることで、焼却灰が新たな鉱脈となる。

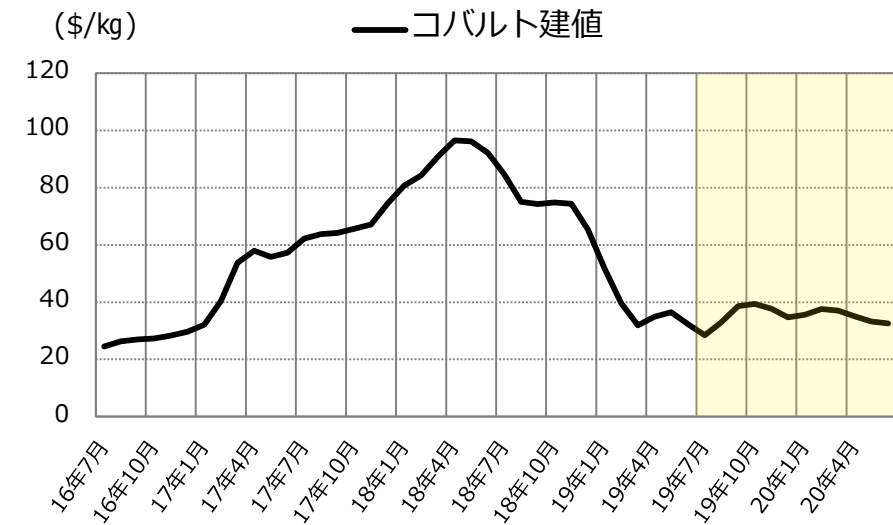
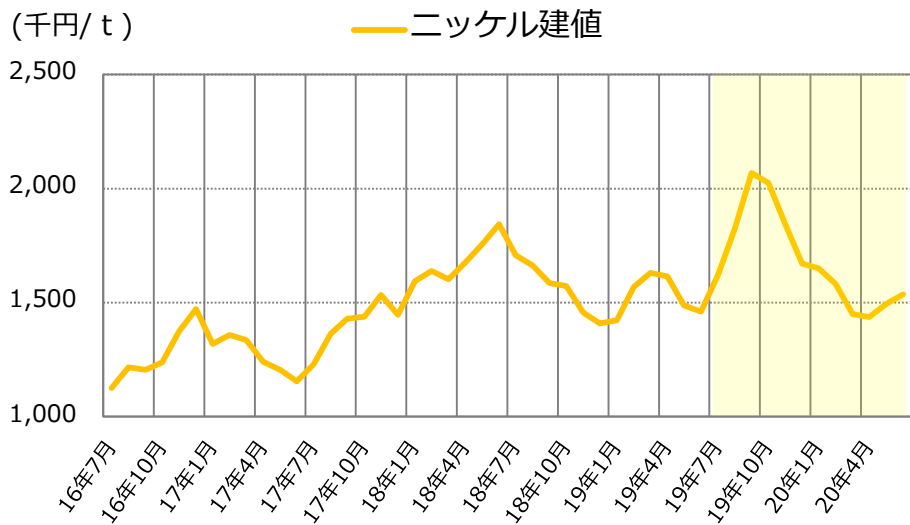
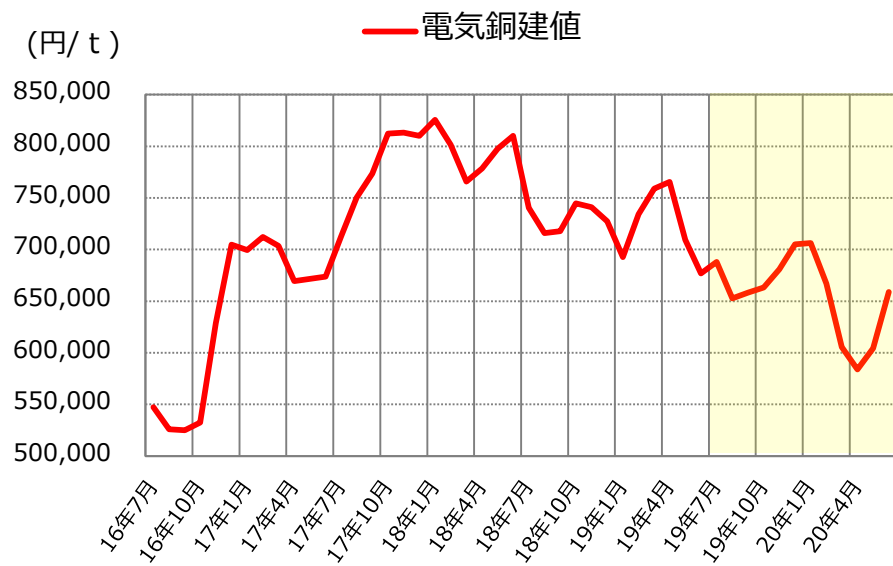
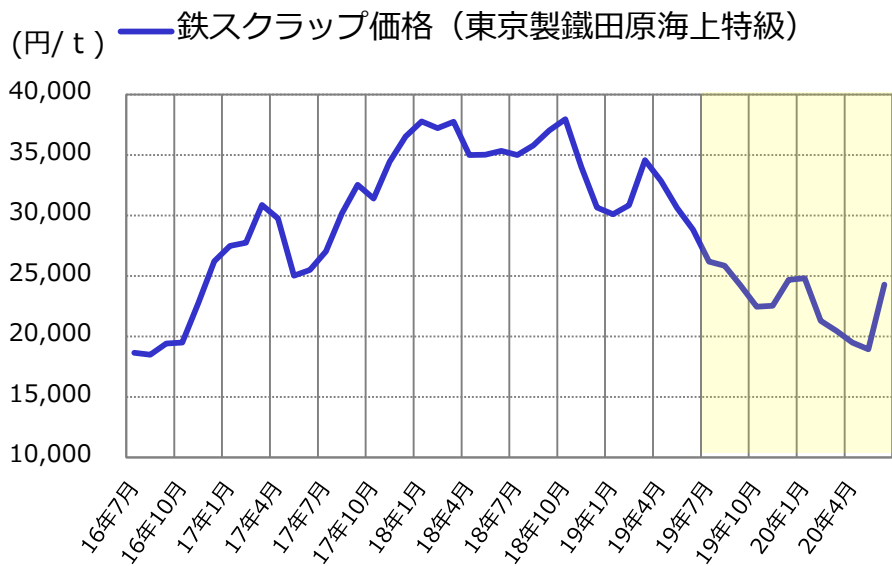


# 地域別売上高推移

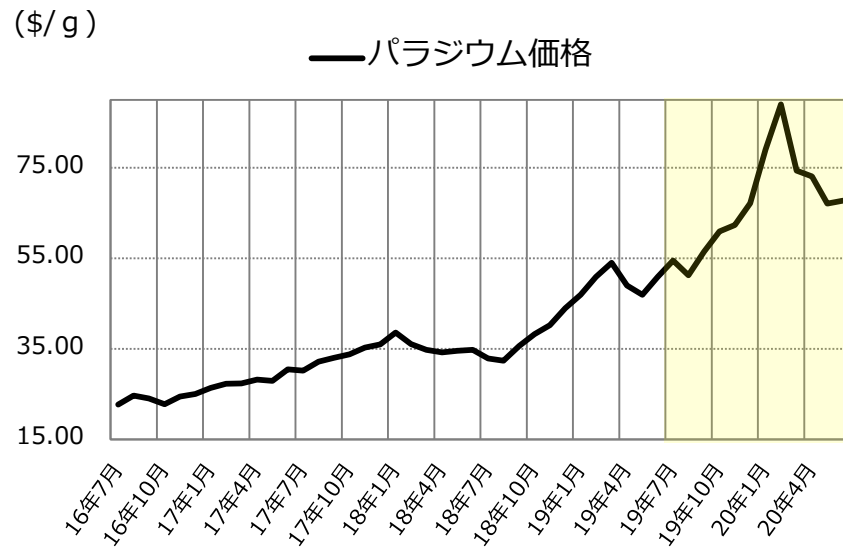
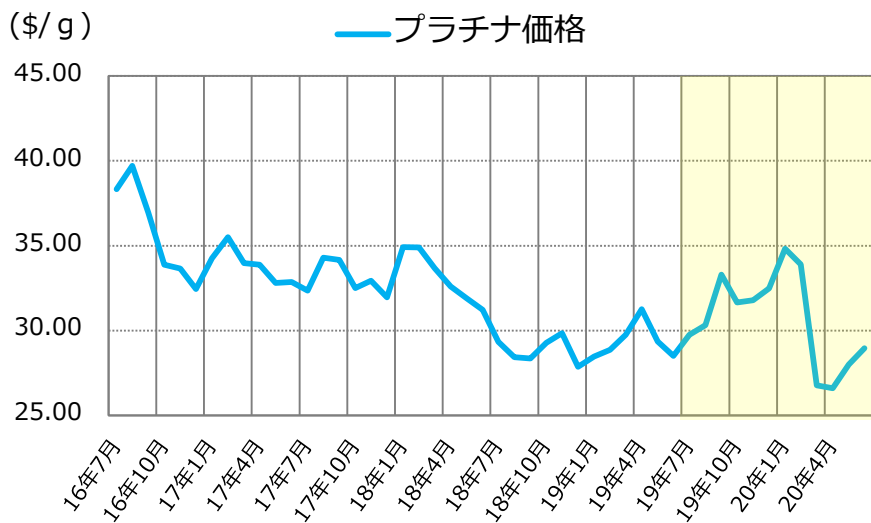
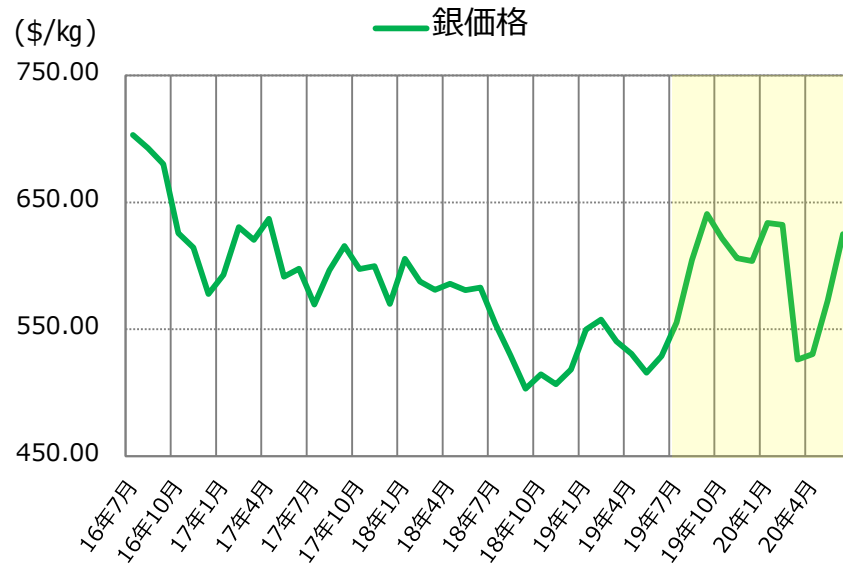
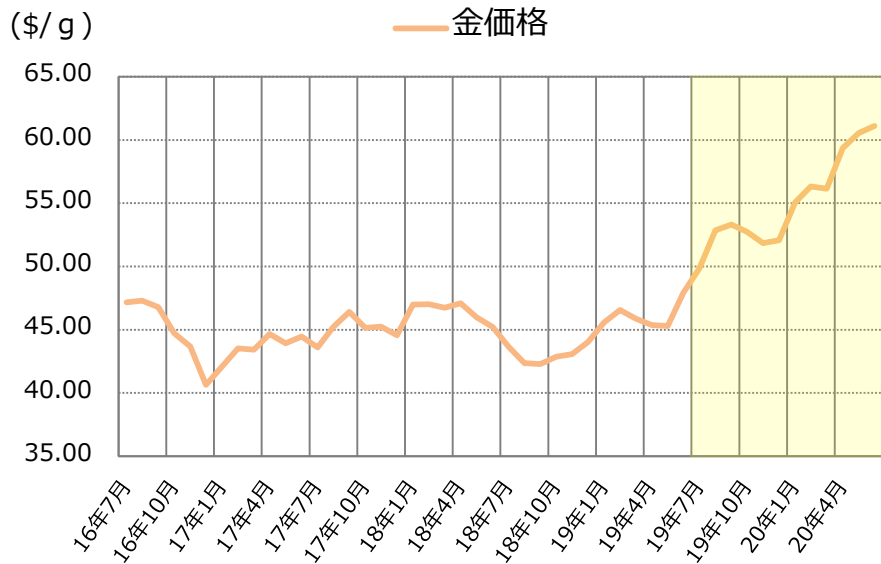
(単位：億円)



# 相場推移①



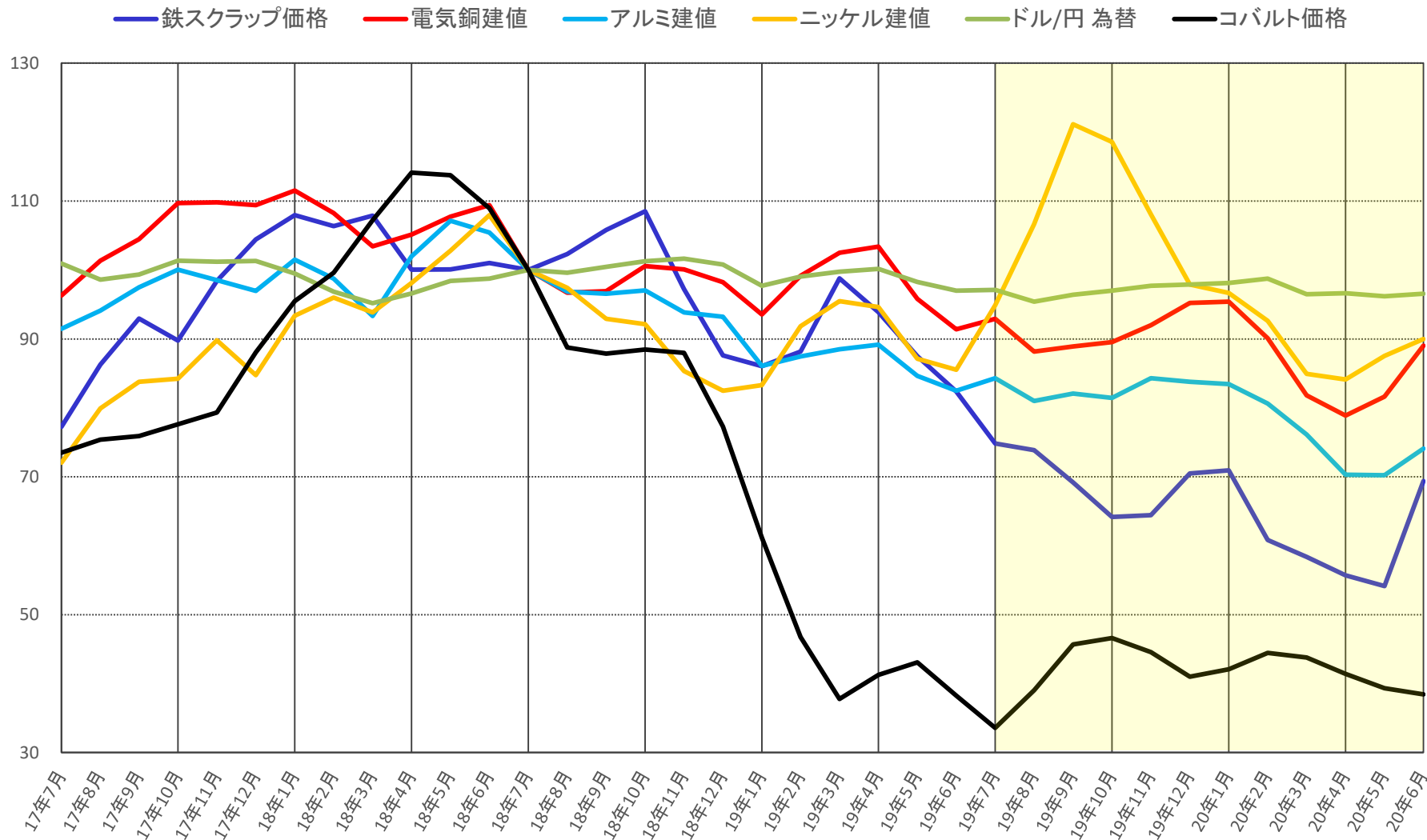
# 相場推移②



(出所) Kitco Metals Inc

# 相場推移③

金属相場の推移 (INDEX推移 2018年7月を100とする)



- 本資料は投資家の参考に資するよう、株式会社エンビプロ・ホールディングスの現状を理解していただくために作成したものです。
- 本資料に記載された内容は、現時点において一般に認識されている経済・社会等の情勢及び弊社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

## 【本資料及びIRに関するお問い合わせ先】

株式会社エンビプロ・ホールディングス 経営企画部

TEL (0544) 21-3160

URL <https://www.envipro.jp/>